

I. 基本的事項について

1. 回答者の所属学部・入学年度・性別など

図1は、回答者の所属学部の分布を示したものです。本学の全学生数に対する各学部学生数の割合（夜間主を除く）は、教育学部 15.6%、法学部 13.9%、経済学部 25.4%、医学部 13.8%、工学部 19.9%、農学部 11.5%であり（参考図1）、図1に示した回答者の所属学部の割合は、それによく似た分布となっています。

〈図1〉 問1 あなたの所属学部は

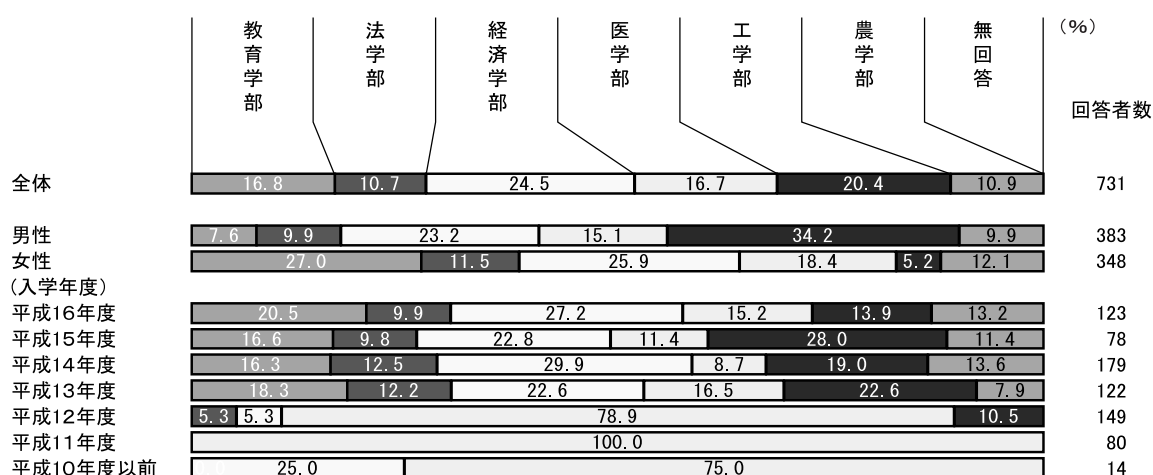


図2は、回答者の入学年度の分布を示したものです。学部別に入学年度の分布を見ると、医学部以外の学部では16.3%（農学部平成13年度入学生）～36.2%（工学部平成15年度入学生）と、ややばらつきがみられます。医学部は12.3%（平成12年度入学生）～22.1%（平成13年度入学生）とそれほどばらつきはみられません。しかし全体としては、平成15年度がやや多く、平成16年度がやや少ないものの、極端な偏りはありません。

〈図2〉 問2 あなたの本学への入学年度は

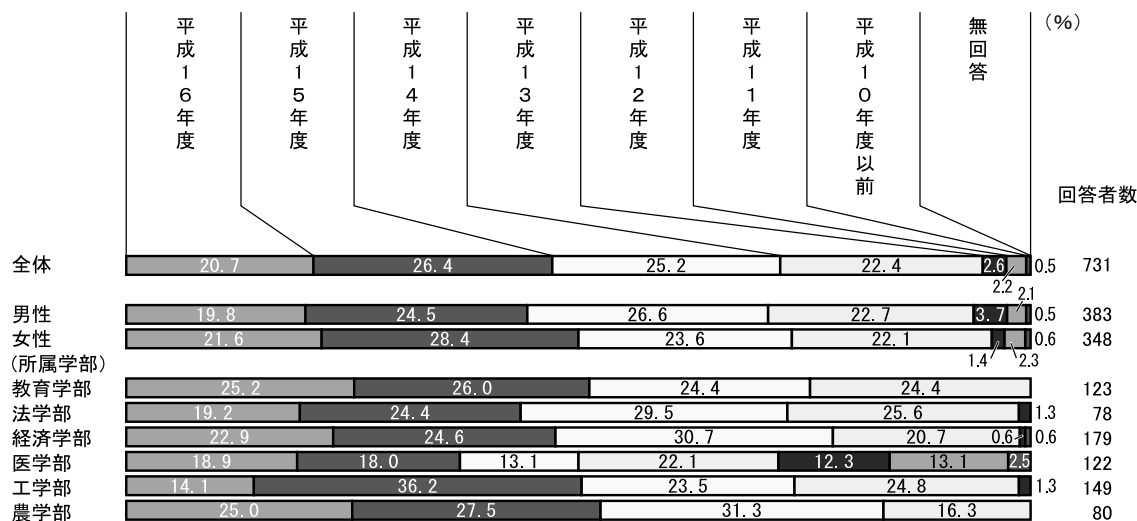
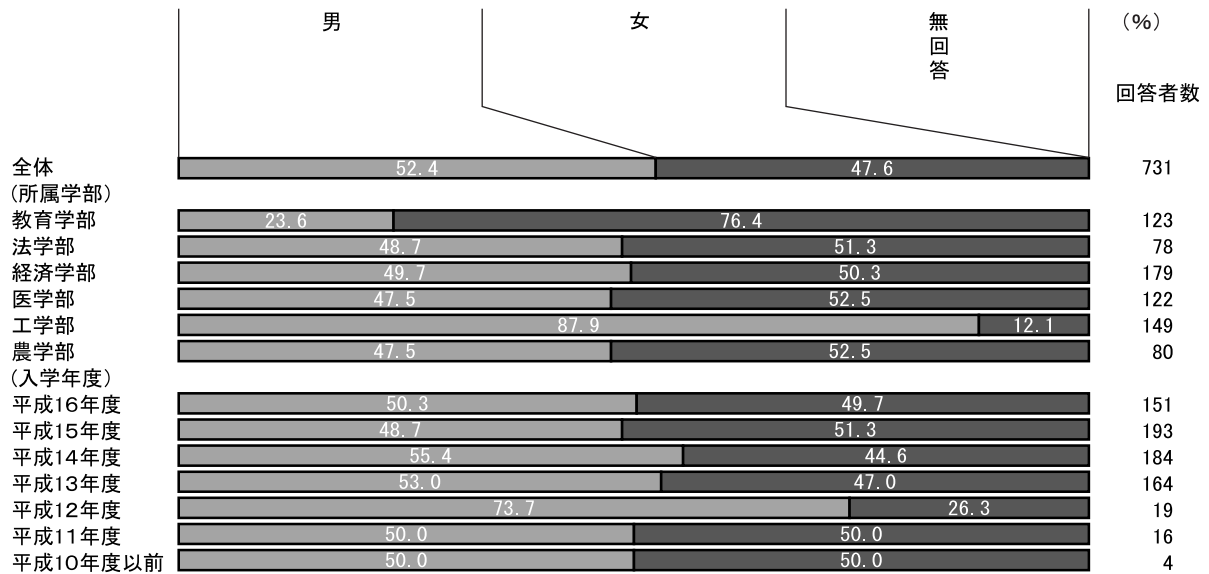
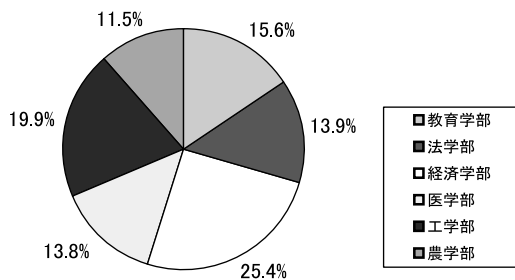


図3は、回答者の性別の分布を表したものです。本学の全学生数に対する男子学生数、女子学生数の割合（夜間主は除く）はそれぞれ57.6%、42.4%であり（参考図2）、回答者の性別分布はそれとよく似た数値となっています。なお、学部別の在籍男子学生、女子学生の割合は、それぞれ、教育学部24.9%、75.1%、法学部58.6%、41.4%、経済学部58.5%、41.5%、医学部44.6%、55.4%、工学部90.9%、9.1%、農学部56.8%、43.2%となっています（参考図3）。

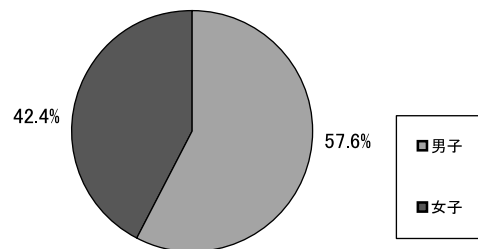
〈図3〉 問3 あなたの性別は



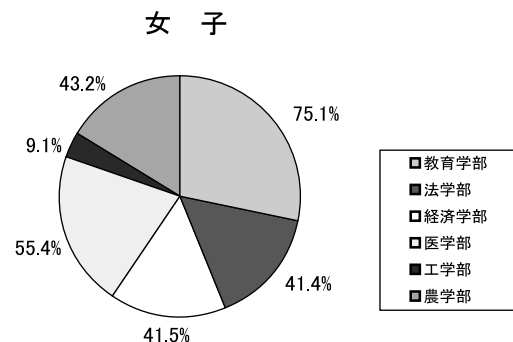
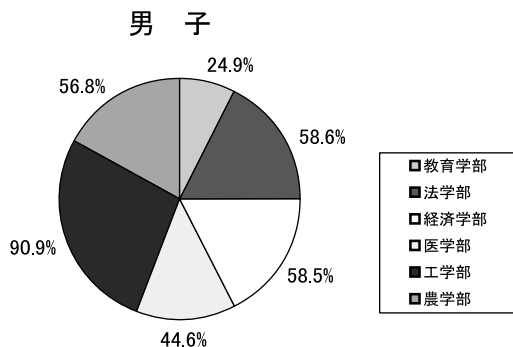
全学生数に対する各学部生の割合（参考図1）



全学生数に対する男女別学生の割合（参考図2）



各学部における男女別学生の割合（参考図3）



2. 回答者の居住場所、通学方法及び通学に要する時間

高松市内からの通学者が6割、自転車通学者が6割弱。
通学所要時間15分以内のものが5割。

図4は、「どこから通学していますか」に対する回答を表したものです。全体では62.1%のものが、高松市内から通学していると回答しています。また男子学生では65.0%のものが高松市内から通学していますが、女子学生の場合は高松市内は58.9%とやや少なく、三木町からの通学者がやや多く見られます。

医学部では、三木町からの通学者が突出して多い(63.1%)のが特徴です。

工学部では、高松市内からの通学者が突出して多い(71.1%)のが特徴です。

入学年度別に見ると、入学年度が遡るに従って、高松市が減少し、三木町が増加しています。

〈図4〉 問4 あなたはどこから通学していますか。

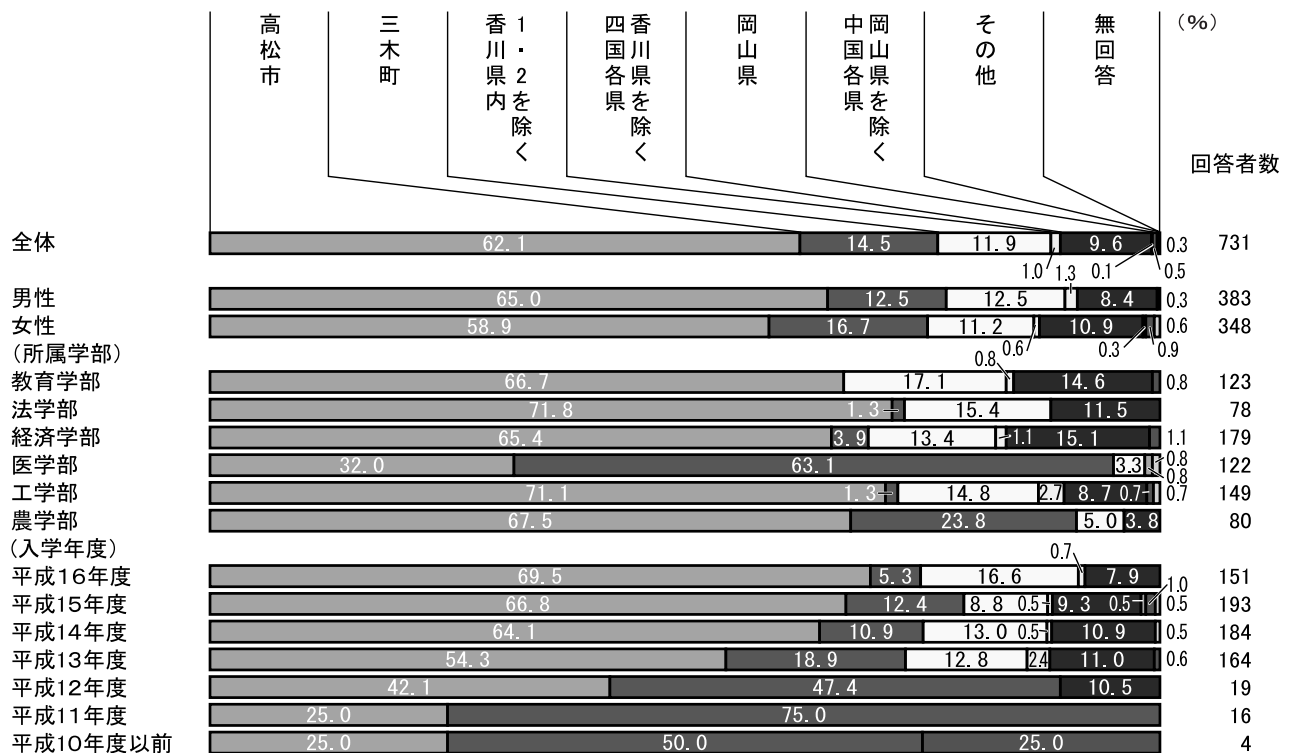
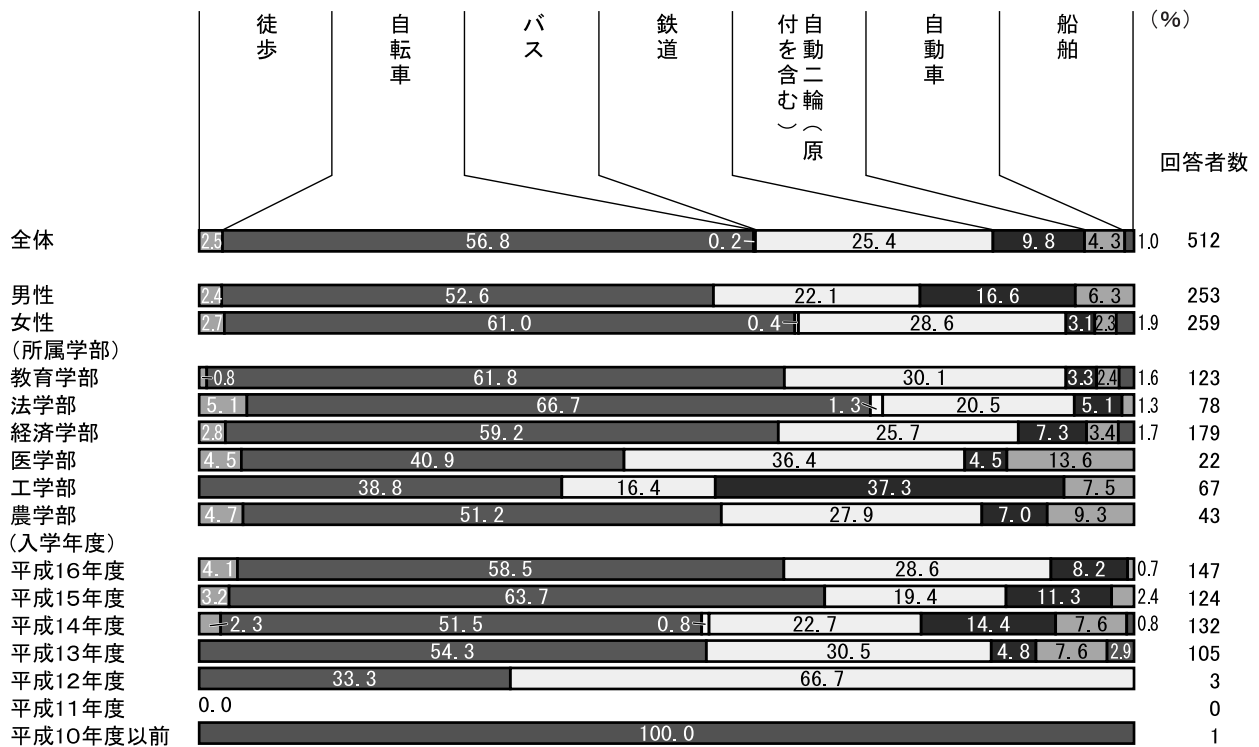


図5・6は、「主としてどのような方法で通学していますか」に対する回答を表したものです。全体では、自転車とするものが56.8%です。性別で見ると、自転車通学者の割合はほぼ同じですが、男子では原付を含む自動二輪が比較的多く(16.6%)、女子では鉄道が多い(28.6%)という違いが見られます。

学部別に見ると、自転車による通学者の割合が最も高いのは法学部(66.7%)であり、原付を含む自動二輪による通学者が最も高いのが工学部(37.3%)となっています。

〈図5〉 問5 あなたは主としてどのような方法で通学していますか。(併用者は主なものを一つだけ選んでください。)

①幸町キャンパスへ通学している学生



〈図6〉 ②幸町キャンパス以外のキャンパス（林町、三木町医学部及び三木町農学部キャンパス）へ通学している学生

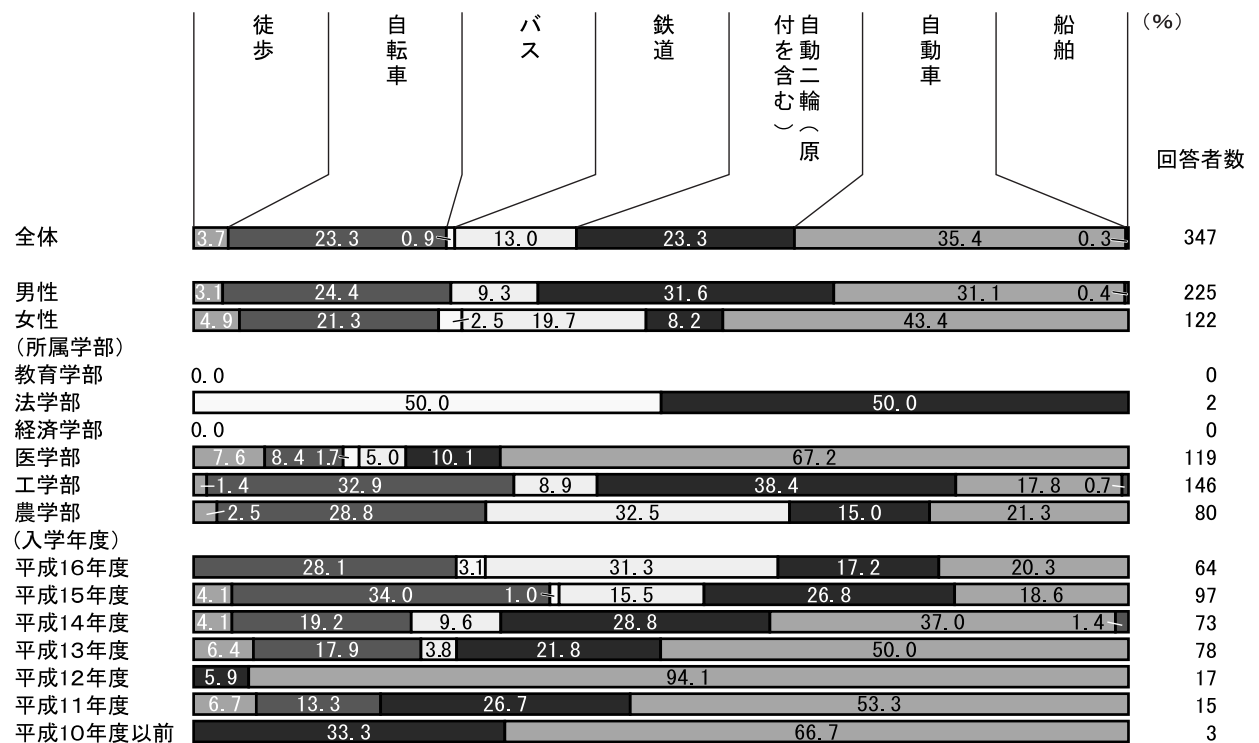


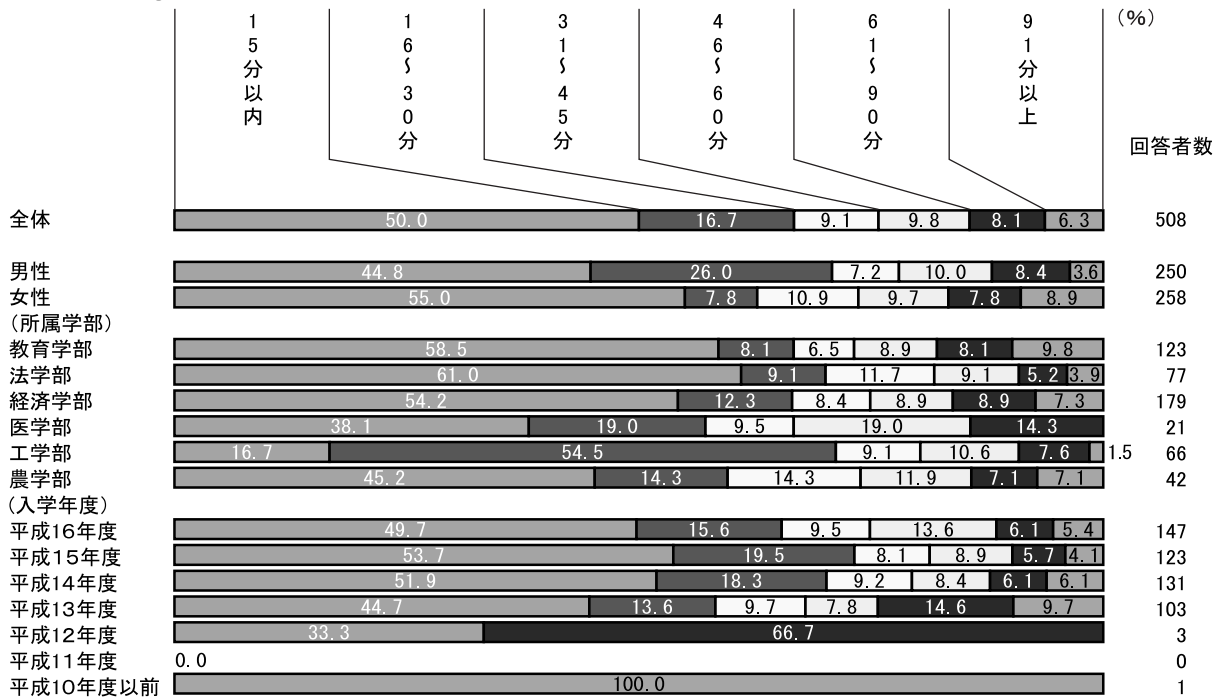
図7・8は、通学の所要時間を表したものです。

全体では、15分以内との回答（50.0%）が最も多くなっています。

性別で見ると、男子学生が16～30分以内との回答がやや多い（26.0%）のに対し、女子学生は31分以上の割合が多くなっています。

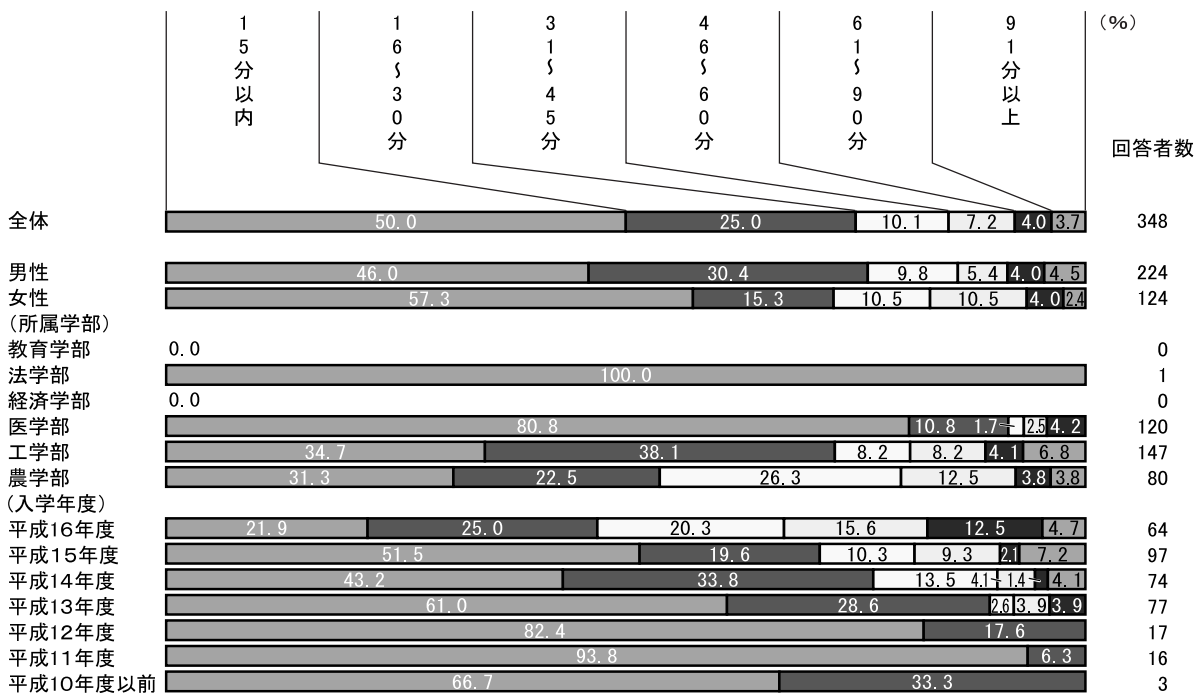
〈図7〉 問6 あなたが通学に要する所要時間（片道）は

①幸町キャンパスへ通学している学生



〈図8〉 ②幸町キャンパス以外のキャンパス（林町、三木町医学部及び三木町農学部キャンパス）

へ通学している学生



3. 家庭状況

家族構成は4人、家族の居住地は岡山県が最多。
 家族の居住地については性別、所属学部別で若干のバラツキあり。

図9は家庭の人数（同居、別居を問わず生計を一にしている者全員の人数）を表したものです。全体では、4人が最も多く（35.7%）、この傾向は、性別、学年別でも変わりません。

〈図9〉 問7 あなたの家族はあなたを含めて何人ですか。（同居、別居を問わずあなたと生計を一にしている者全員の人数。）

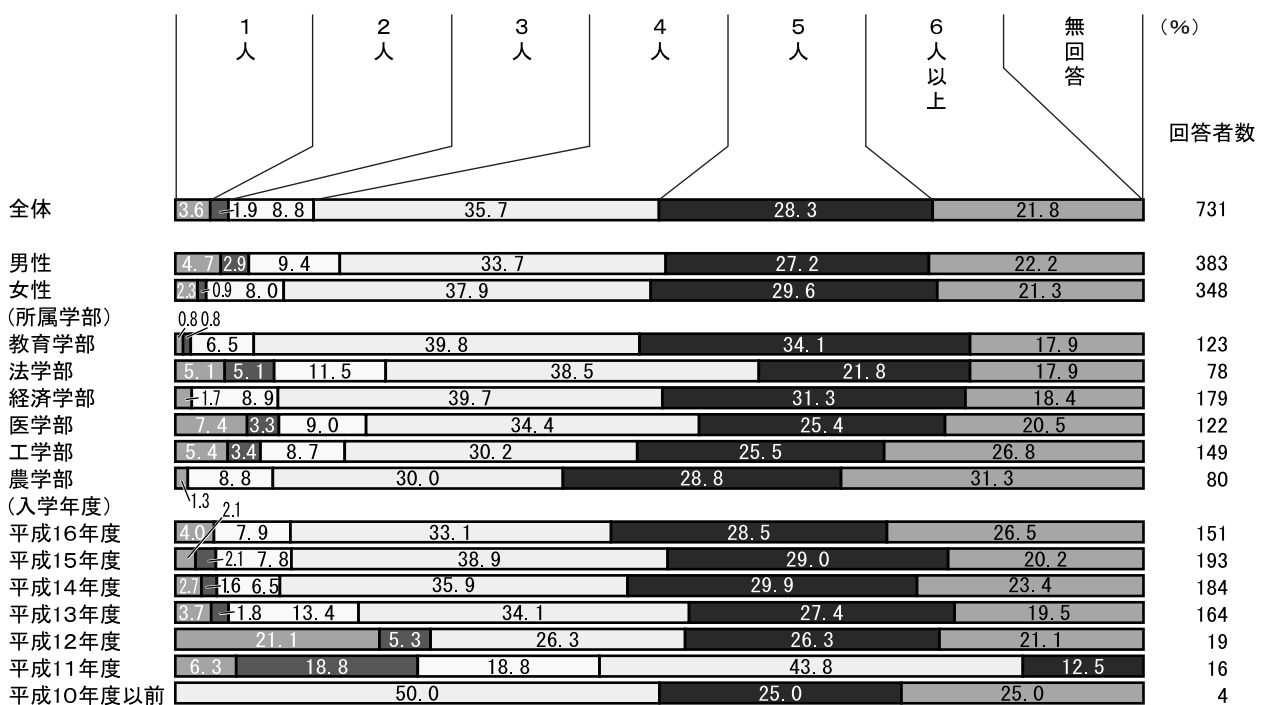
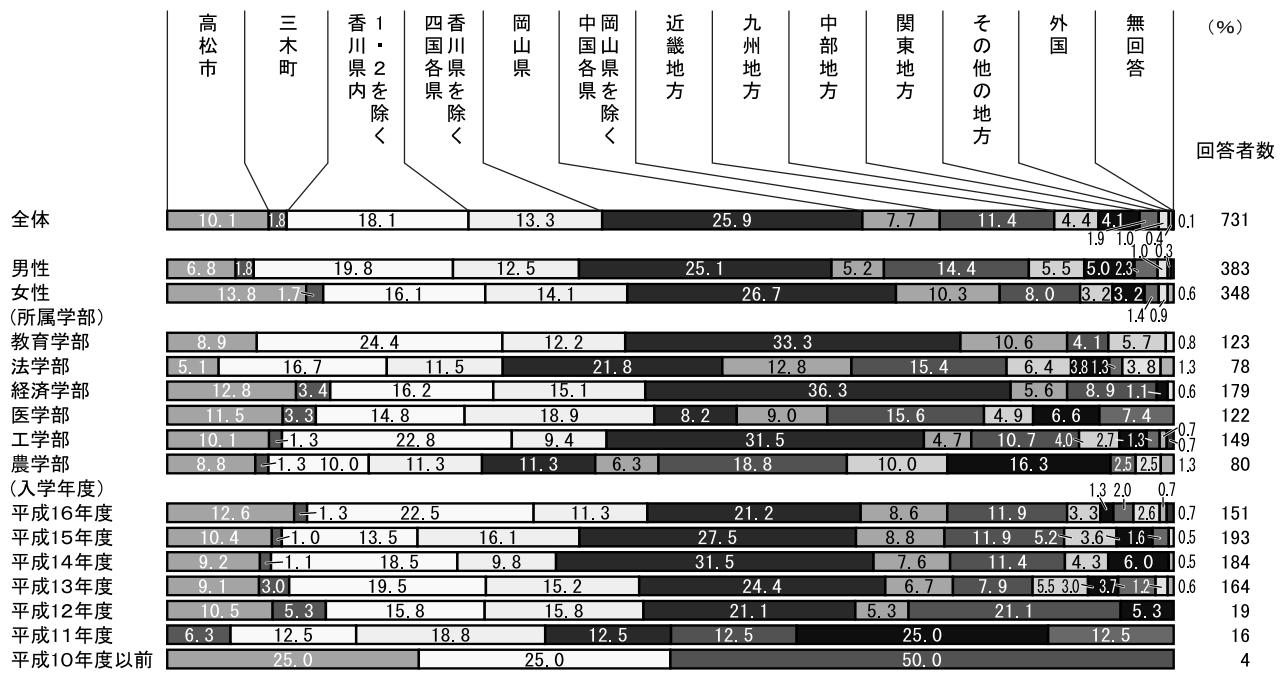


図10は、家族の居住地を表したものです。全体では岡山県との回答（25.9%）が最も多くなっています。

性別で見ると、女子学生に高松市や三木町を除く香川県内とする回答がやや多く、男子学生には近畿地方とする回答がやや多く見られます。

学部別で見ると、農学部では九州から中部地方以北まで分散しています。工学部や農学部では、近畿地方とする回答が比較的多いのも特徴的です。

〈図 10〉 問 8 あなたの家族の居住地はどこですか。



4. 経済状況

(1) 収入状況

① 家庭からの給付

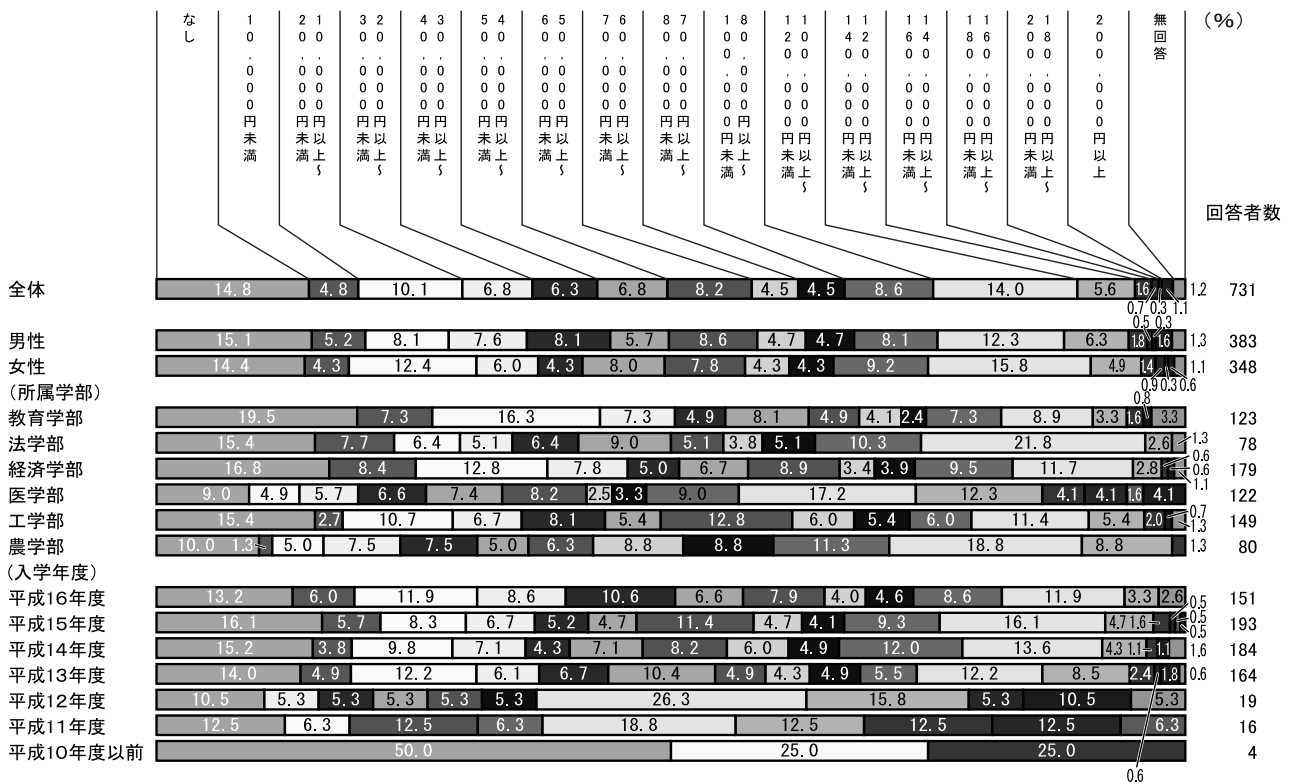
家庭からの給付を受けていない学生は15%。
文系学部と理系学部とで差あり。

図11は、家庭からの給付を表したものです。全体では「なし」とする回答(14.8%)が最も多く、次いで「10万円以上～12万円未満」(14.0%)となっており、この傾向は性別で見ても概ね変わりません。

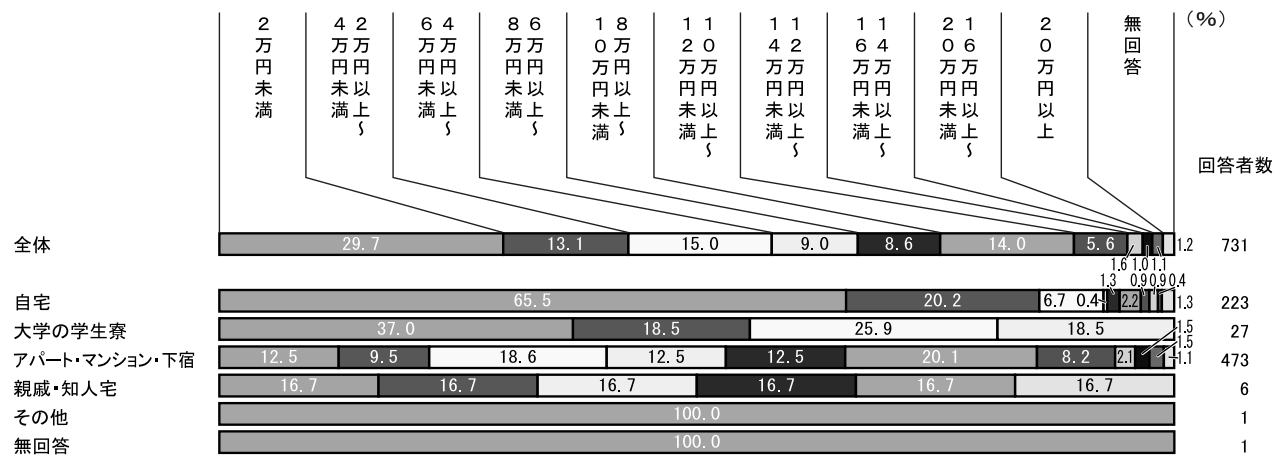
所属学部別で見ると、医学部、工学部、農学部といった理系学部が比較的高額に偏る傾向を見えています。

住居形態別で見ると、自宅に住んでいる学生では「なし」とする回答が多く、アパートその他に住んでいる学生では逆の傾向が見られます。

〈図11〉 問9-1 家庭からの給付



〈図 12〉 問9－1 家庭からの給付（住居形態別）



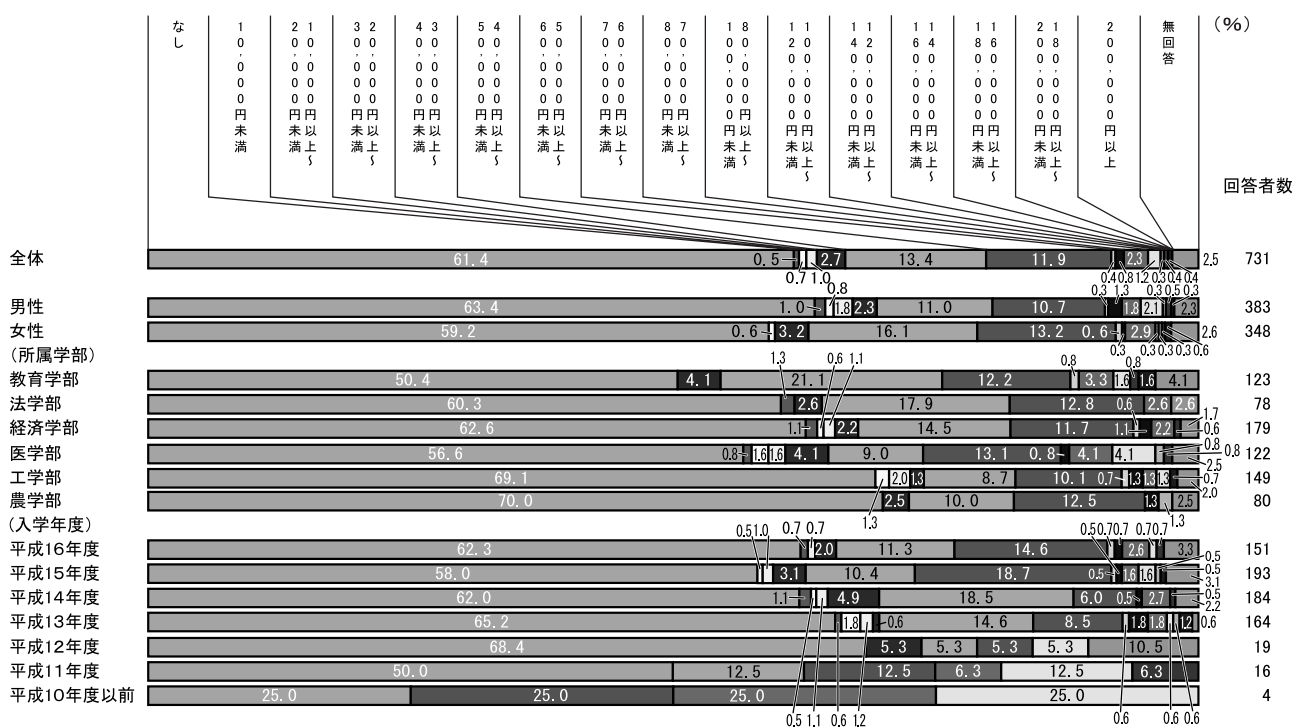
② 奨学金

奨学金を受けている学生は4割。

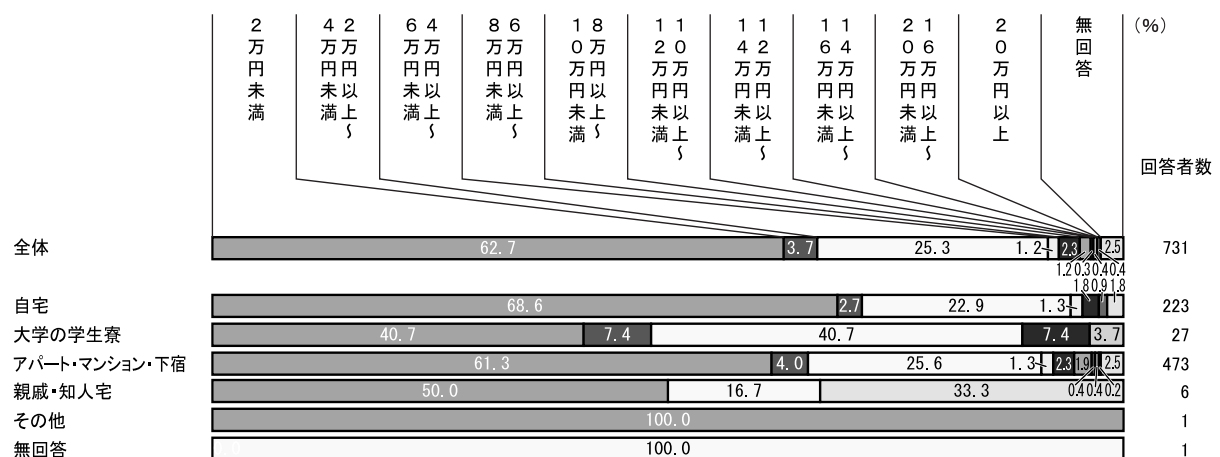
図13は、奨学金の受給額を表したものです。全体では「なし」とする回答(61.4%)が最も多く、次いで「4万円以上～5万円未満」(13.4%)となっており、この傾向は性別、所属学部別でも概ね変わりません。

住居形態別で見ると、学生寮、アパートその他に住んでいる学生では、「4万円以上～6万円未満」とする回答が比較的多く見られます。

〈図13〉 問9-2 奨学金



〈図14〉 問9-2 奨学金 (住居形態別)



③ アルバイト

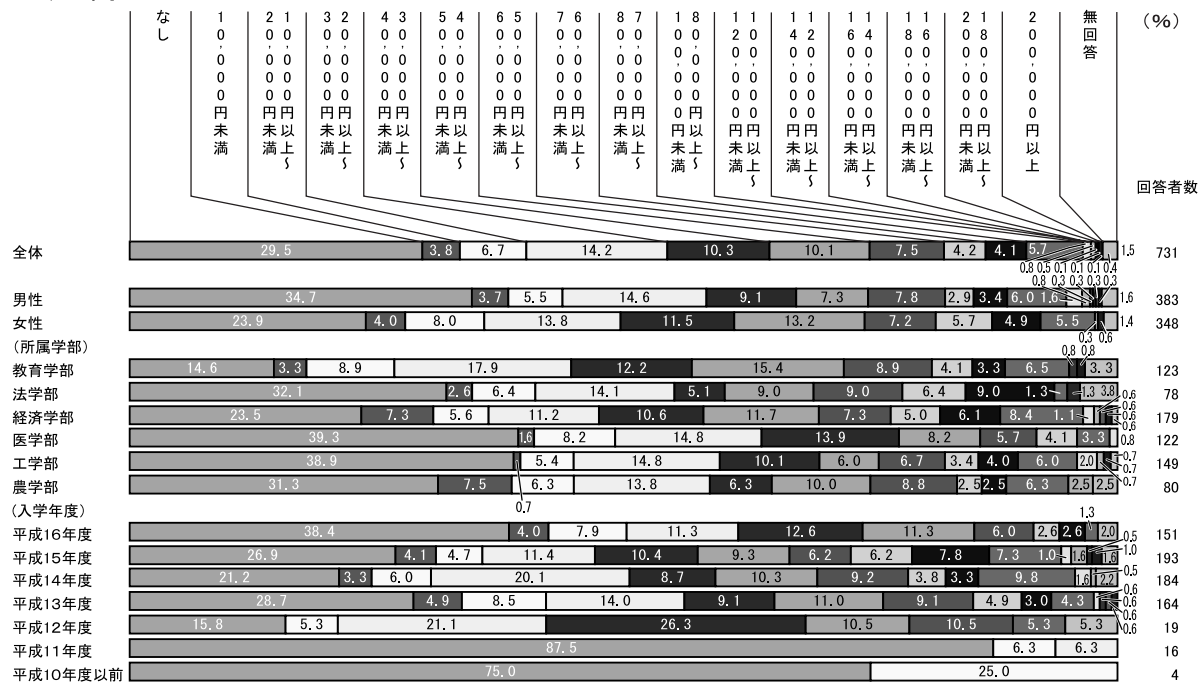
アルバイトをしている学生は7割。

図15は、アルバイトによる一ヶ月の収入額を表したものです。全体としては、「なし」と回答したもの(29.5%)が最も多く、この傾向は女子学生よりも男子学生で顕著です。

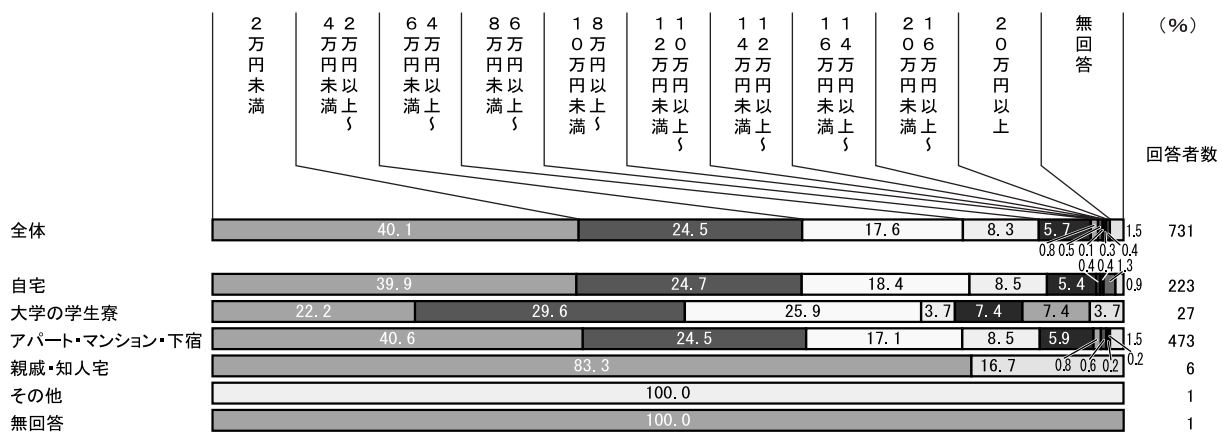
所属学部別で見ると、医学部・工学部・農学部といった理系学部で「なし」の回答がより多く見られるという傾向があります。文系学部の中では、法学部がそれに次いでいます。

住居形態別で見ると、親戚・知人宅に住んでいる学生では「2万円未満」とする回答が突出して多く、学生寮の学生にはアルバイト代がやや高くなる傾向が見られます。

〈図15〉 問9-3 アルバイト



〈図16〉 問9-3 アルバイト (住居形態別)

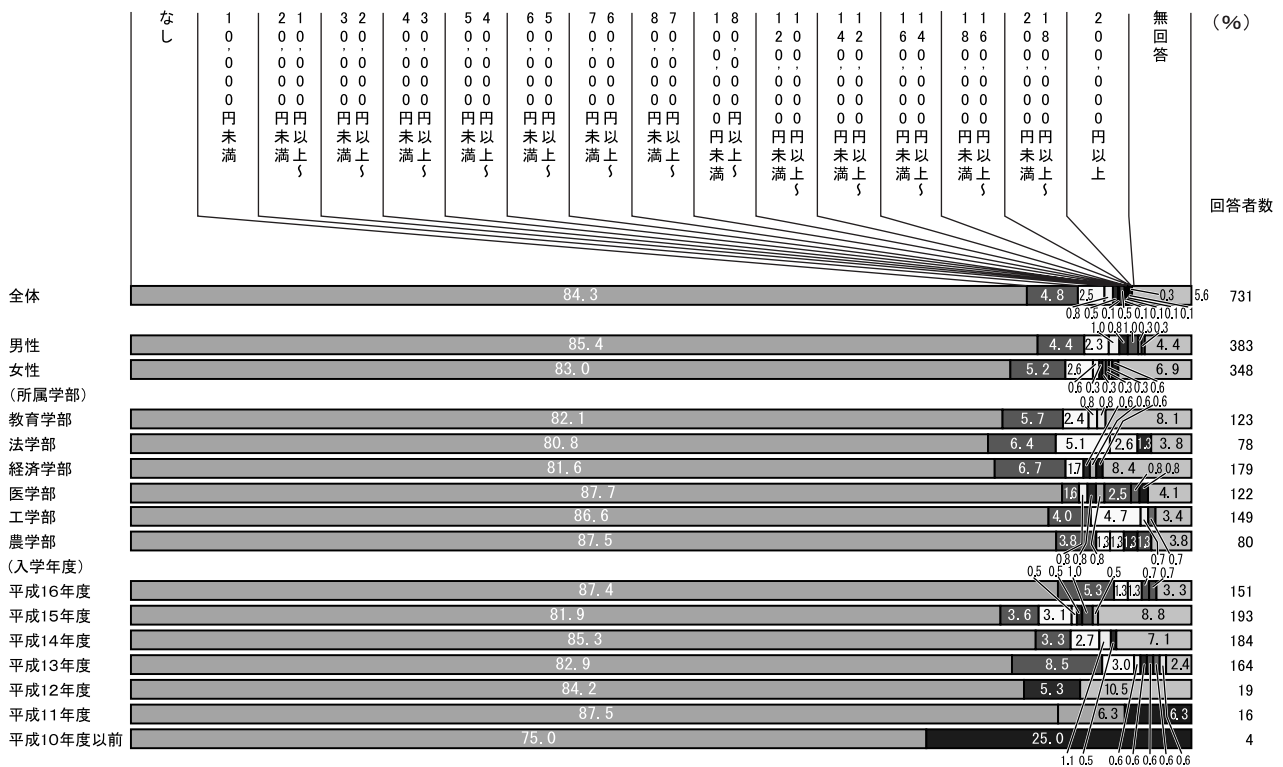


④ その他の収入

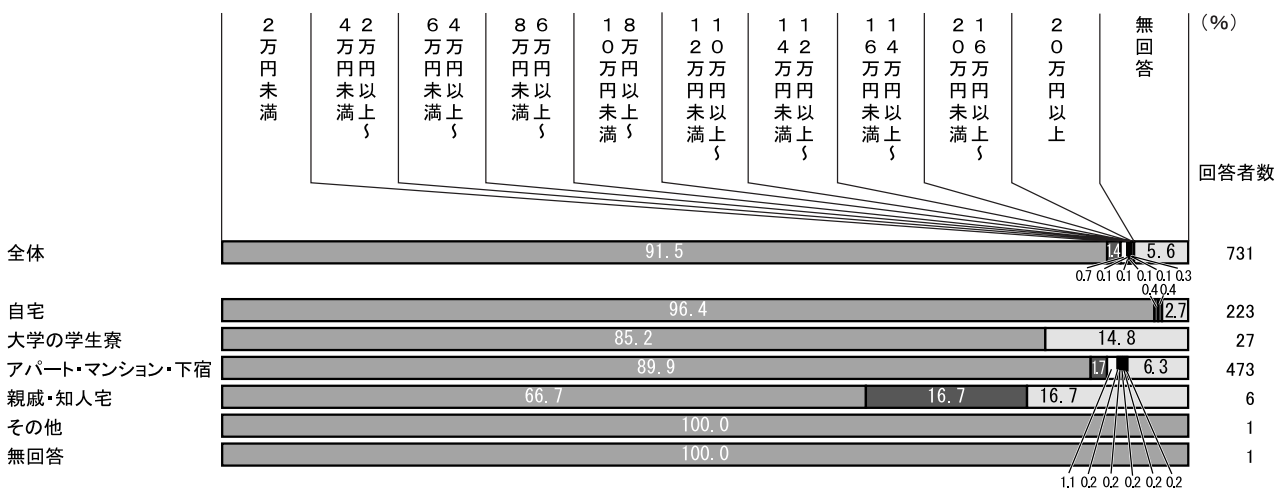
「その他」の収入のない学生が圧倒的多数。

図 17 は、一ヶ月の収入総額に占める「その他」の比率ですが、全体としても、また性別・所属学部・住居形態を問わず、「なし」の回答が圧倒的多数を占めています。

〈図 17〉 問 9-4 その他の収入



〈図 18〉 問 9-4 その他の収入（住居形態別）



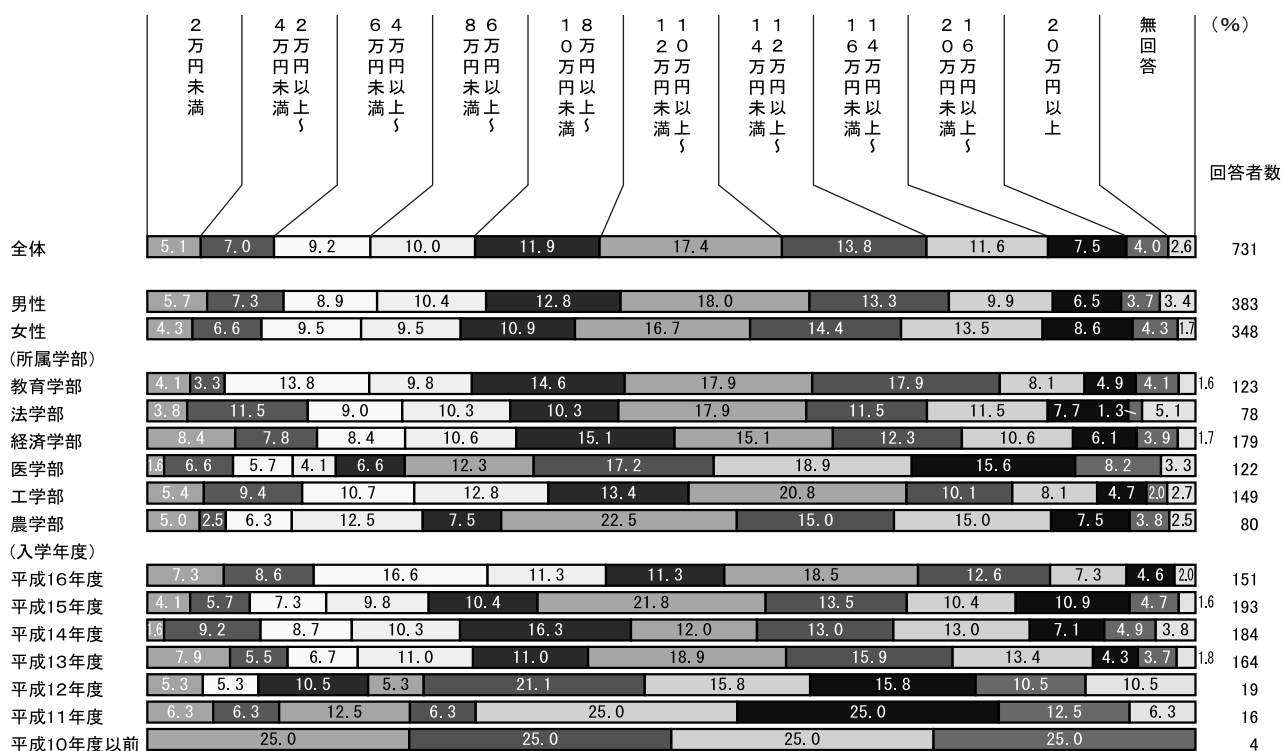
⑤ 1か月の収入総額

収入総額は「10万円以上～12万円未満」が2割弱で最多。

図19は、一ヶ月の収入総額を表したものです。全体としては、「10万円以上～12万円未満」とする回答（17.4%）が最も多く、次いで「12万円以上～14万円未満」、「8万円以上～10万円未満」となっています。この傾向は、性別・所属学部別で見てもほぼ同様です。

住居形態別で見ると、親戚・知人宅に住んでいる学生では「2万円以上～4万円未満」とする回答が突出して多くなっています。

〈図19〉 問9－5 1か月の収入総額（2万円別）



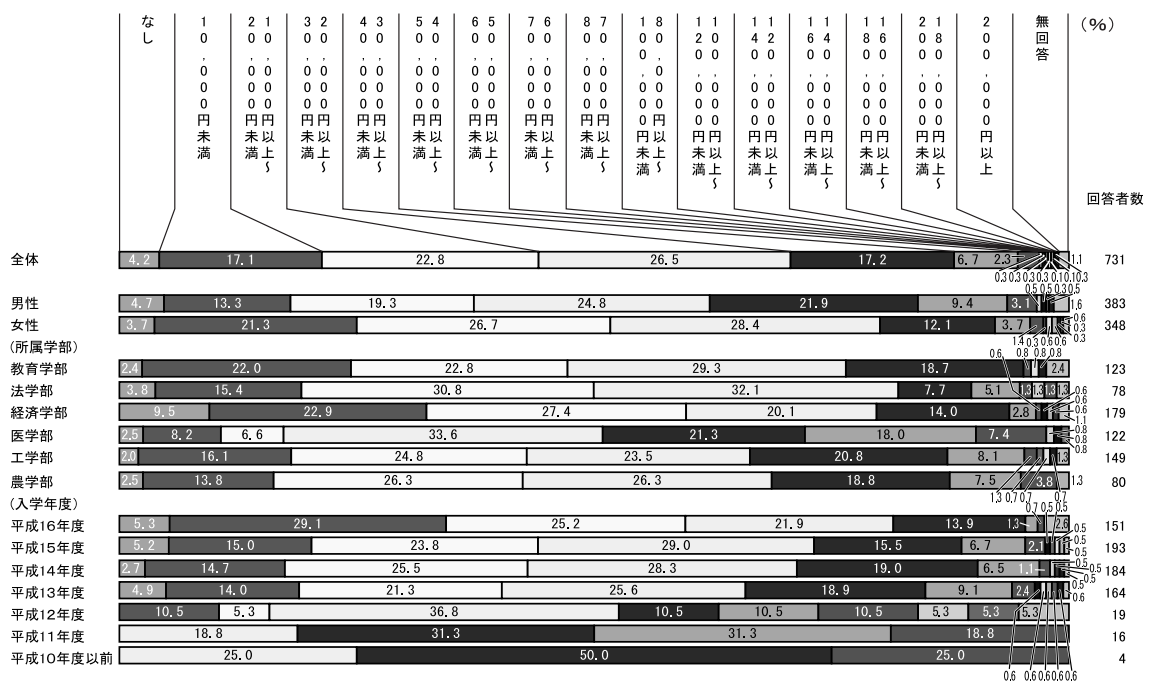
(2) 支出状況

① 食費

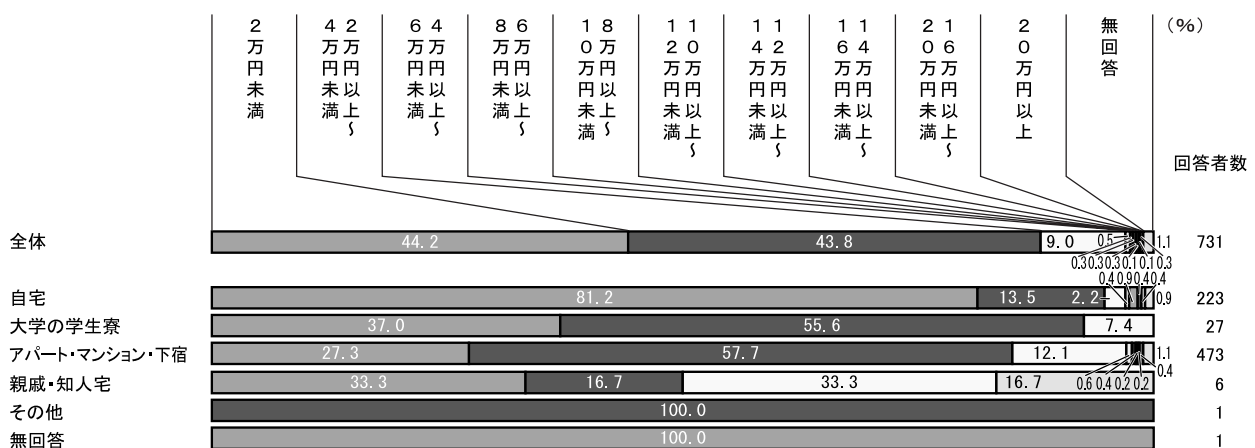
食費は「2万円以上～3万円未満」が3割弱で最多。

図 22 は、一ヶ月の食費の割合を表したものです。全体としては、「2万円以上～3万円未満」とする回答 (26.5 %) が最も多く、次いで「1万円以上～2万円未満」、「3万円以上～4万円未満」となっています。男子学生は、女子学生に比べてやや食費が高額に偏る傾向があります。所属学部別に見ると、医学部では食費がやや高額に偏る傾向が見られます。また住居形態別で見ると、自宅生では「2万円未満」とする回答の割合が突出して高くなっています。

〈図 22〉 問9-6 食費



〈図 23〉 問9-6 食費 (住居形態別)

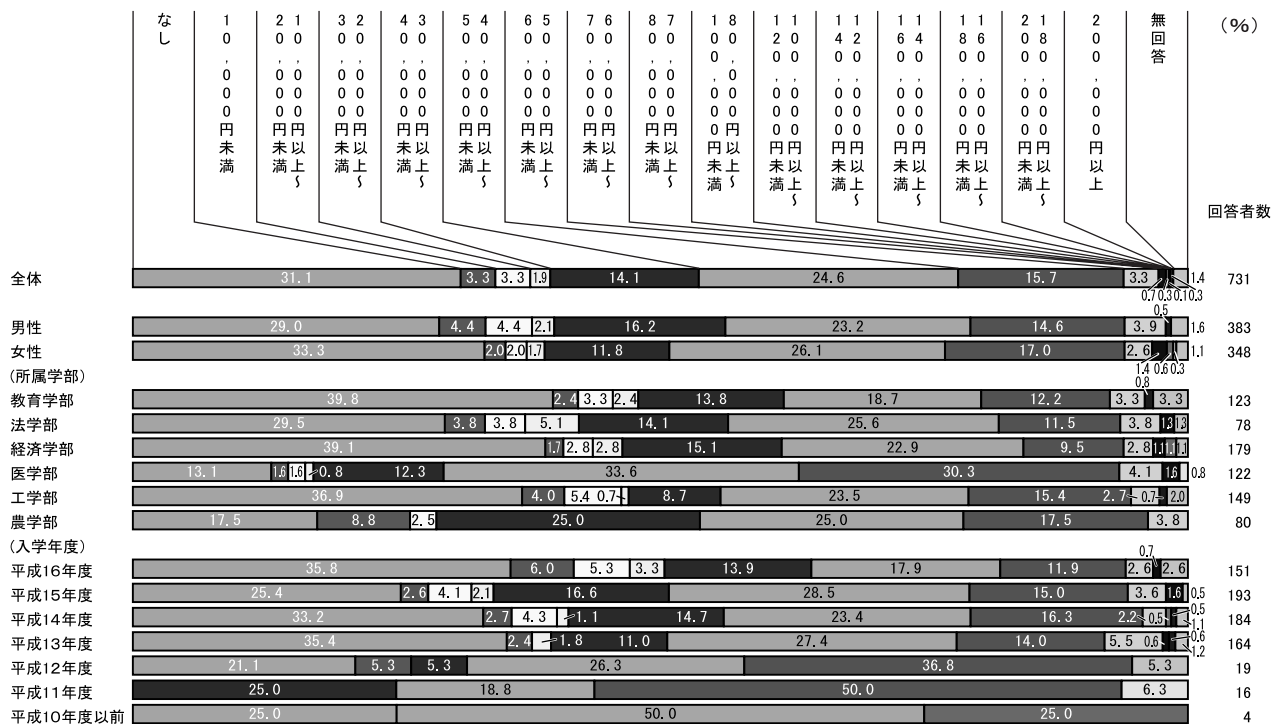


② 住居費

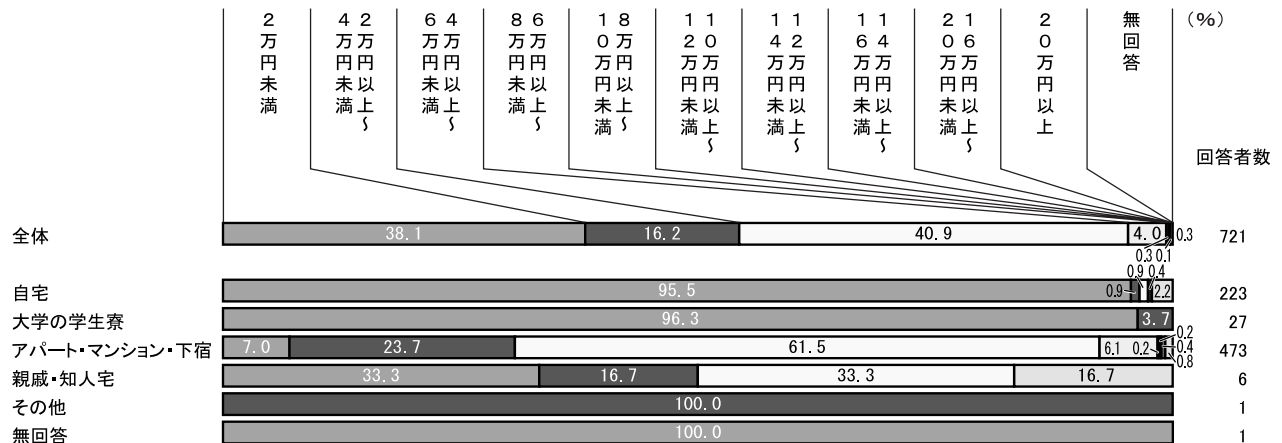
住居費は「なし」が最多、次いで「4万円以上～5万円未満」前後。

図24は、一ヶ月の住居費を表したものです。全体としては、「なし」とする回答(31.1%)が最も多く、次いで「4万円以上～5万円未満」前後となっています。この傾向は、性別・所属学部別で見てもほぼ同様ですが、医学部では住居費がやや高額に偏る傾向が見られます。住居形態別で見ると、当然ながら、自宅生及び寮生では「2万円未満」とする回答の割合が突出して高くなっています。

〈図24〉 問9-7 住居費



〈図25〉 問9-7 住居費(住居形態別)



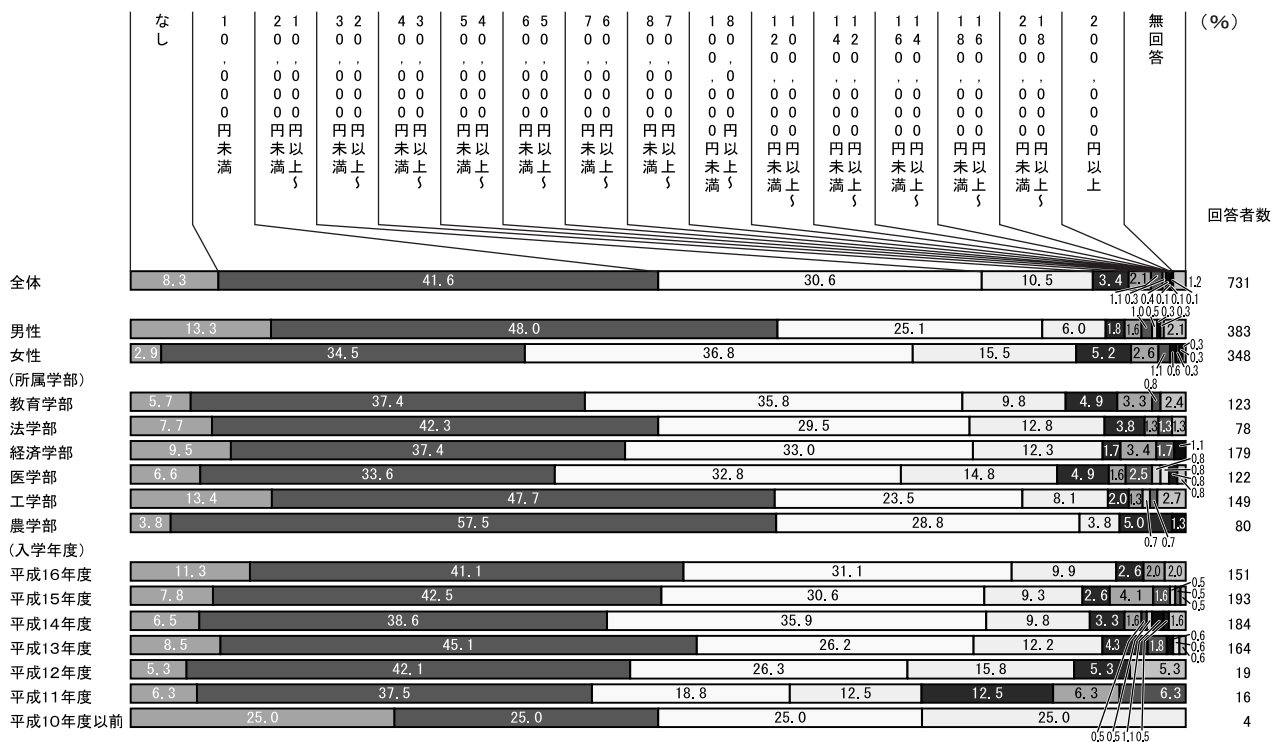
③ 被服費

被服費は「1万円未満」が最多。
性別・所属学部別で若干のバラツキあり。

図 26 は、一ヶ月の被服費を表したものです。全体としては、「1万円未満」とする回答（41.6%）が最も多く、男子学生も同様ですが、女子学生は「1万円以上～2万円未満」とする回答が最も多くなっています。

所属学部別で見ると、工学部・農学部では「1万円未満」とする回答が多いのに対し、教育学部・経済学部・医学部では「1万円以上～2万円未満」ないしそれ以上とする回答が多くなる傾向を見せています。

〈図 26〉 問9－8 被服費

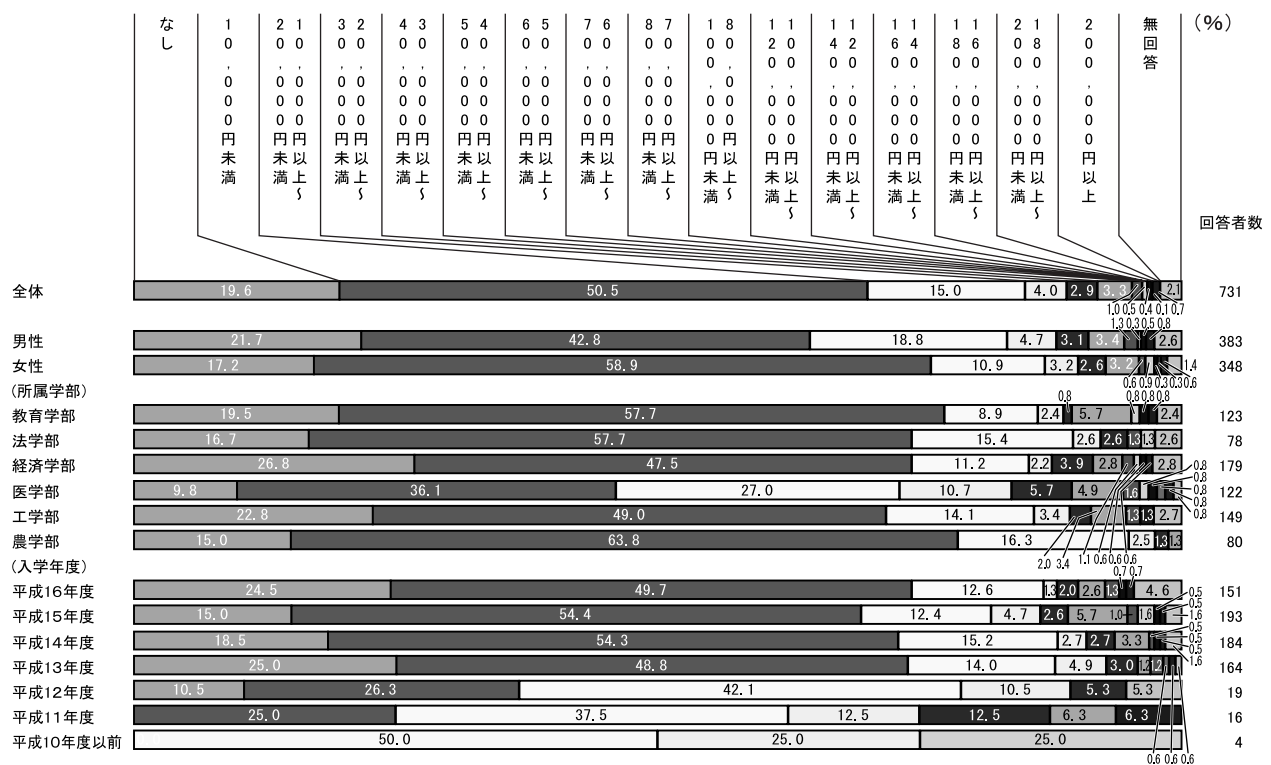


④ 学業費

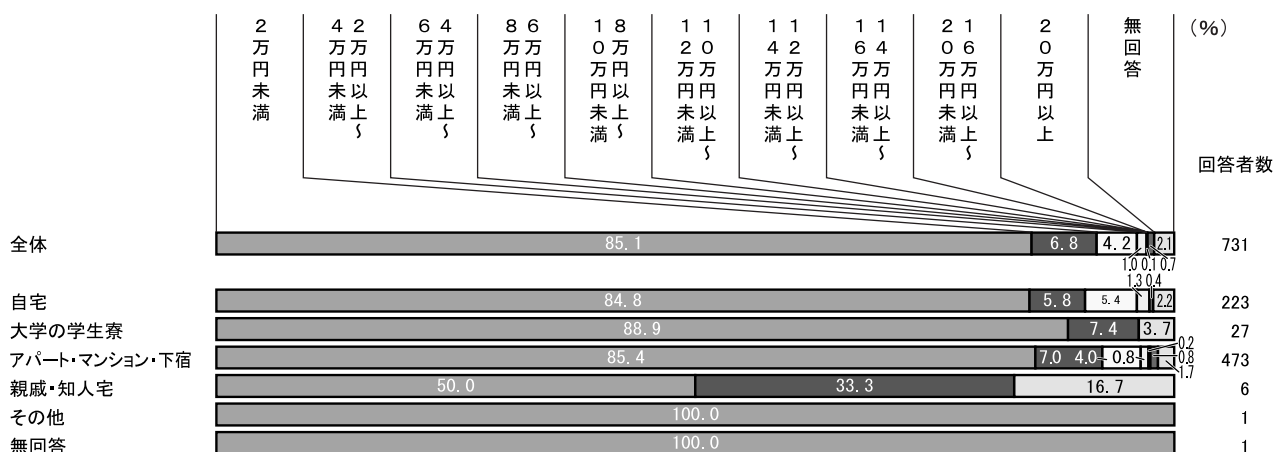
学業費は「1万円未満」が最多。
所属学部別・住居形態別に若干のバラツキあり。

図 27 は、一ヶ月の学業費を表したものです。全体としては、「1万円未満」とする回答（50.5%）が最も多く、この傾向は、性別・所属学部別で見てもほぼ同様ですが、医学部では学業費がやや高額に偏る傾向が見られます。住居形態別で見ると、親戚・知人宅に住んでいる学生に、学業費がやや高くなる傾向が見られます。

〈図 27〉 問 9 - 9 学業費



〈図 28〉 問 9 - 9 学業費（住居形態別）

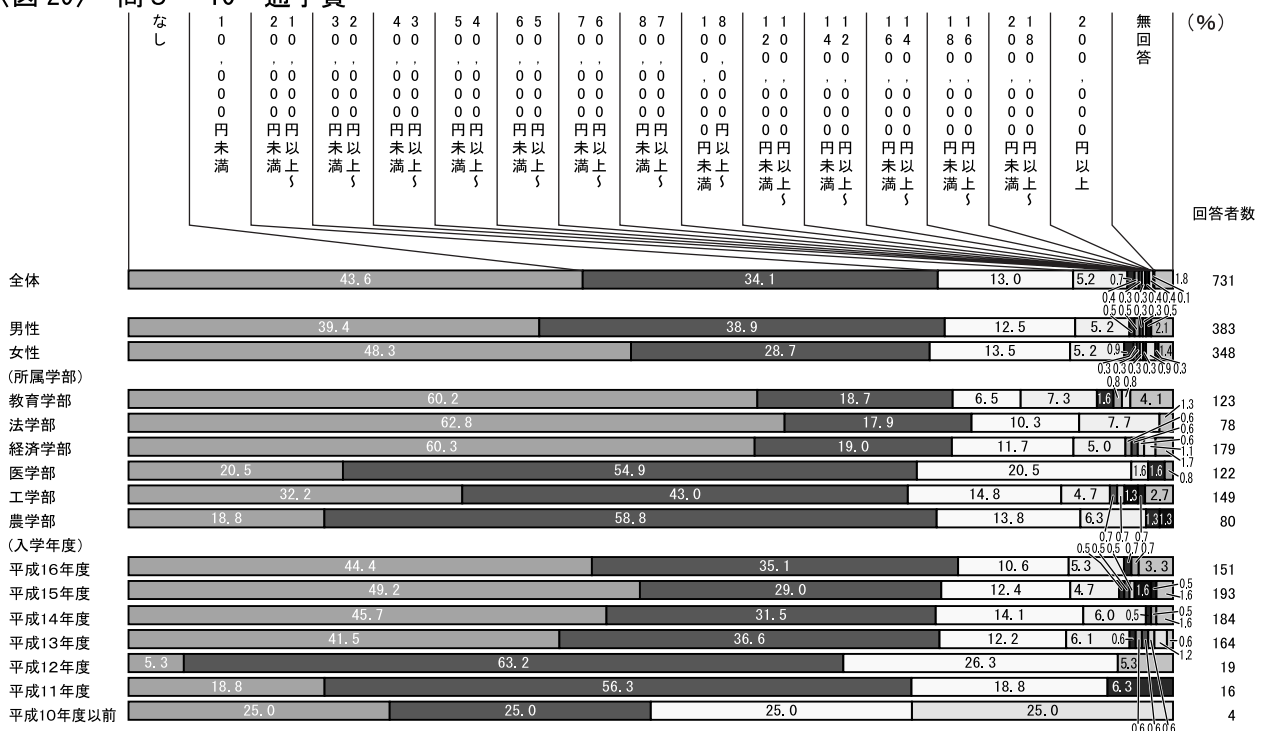


⑤ 通学費

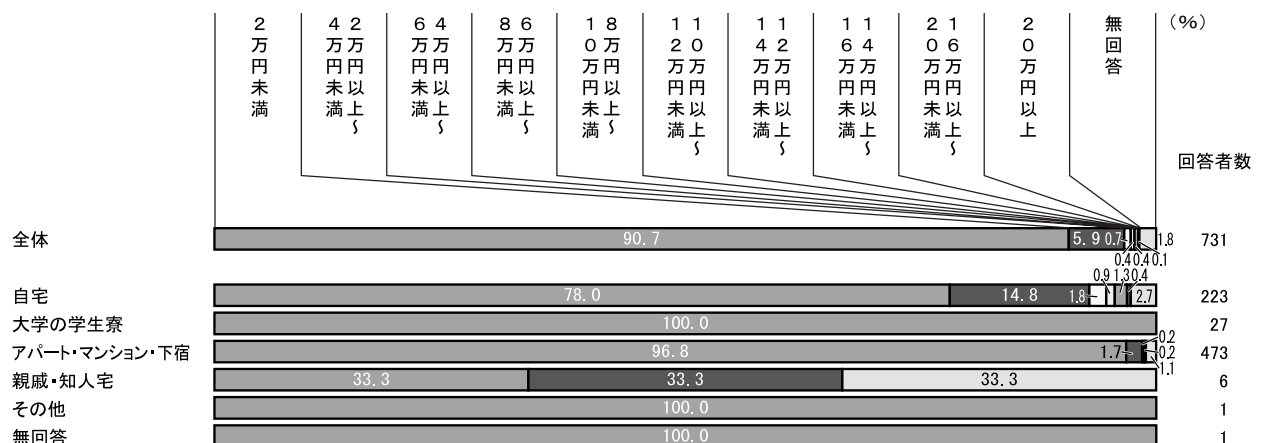
通学費は「なし」が最多。
所属学部別・住居形態別に若干のバラツキあり。

図 29 は、一ヶ月の通学費を表したものです。全体としては、「なし」とする回答（43.6%）が最も多く、次いで「1万円未満」となっています。性別で見ると、女子学生の方が「なし」とする回答の割合がより高くなっています。また、医学部・工学部・農学部といった理系学部では、「1万円未満」とする者の割合が高く、「なし」とする者の割合を上回っています。住居形態別で見ると、親戚・知人宅に住んでいる学生に、通学費がやや高くなる傾向が見られます。

〈図 29〉 問 9 - 10 通学費



〈図 30〉 問 9 - 10 通学費（住居形態別）

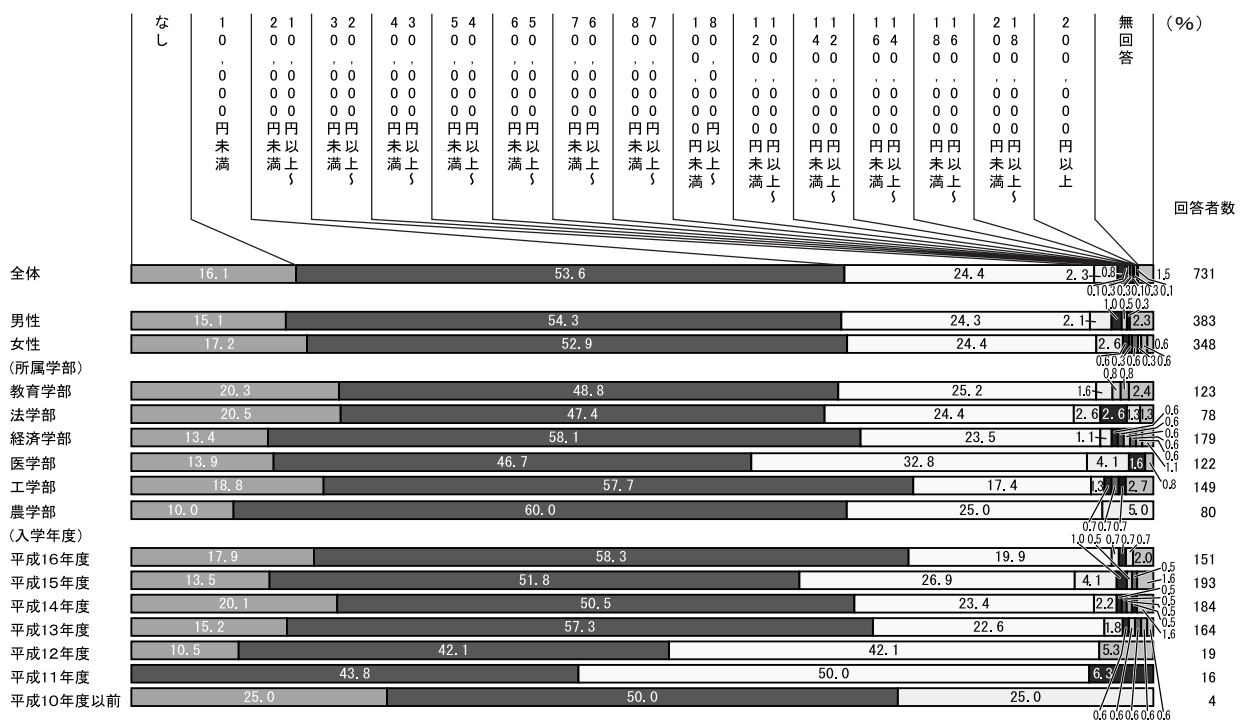


⑥ 通信費（携帯電話代等）

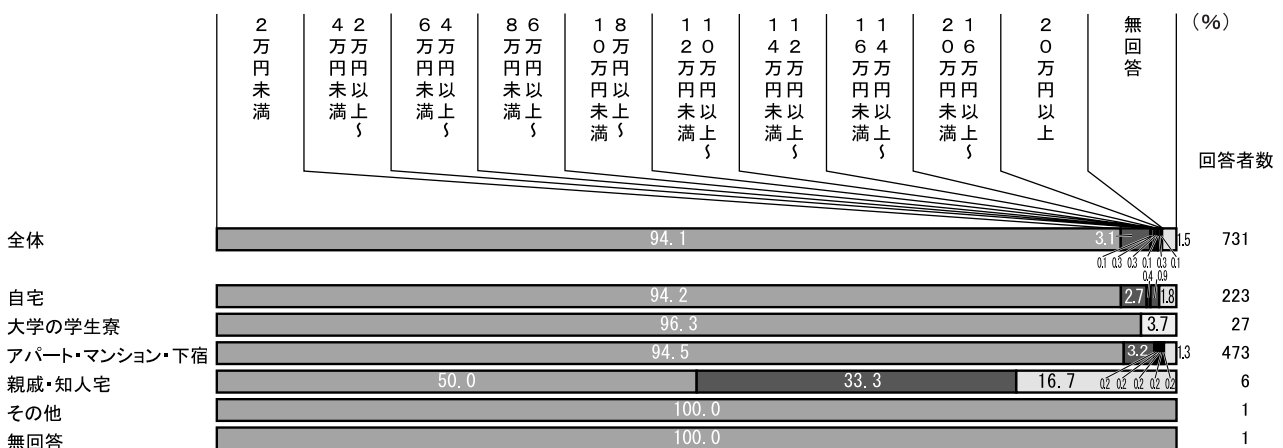
通信費は「1万円未満」が最多。住居形態別に若干のバラツキあり。

図 31 は、一ヶ月の通信費を表したものです。全体としては、「1万円未満」とする回答（53.6%）が最も多く、次いで「1万円以上～2万円未満」、「なし」となっています。この傾向は、平成11年度入学生で「なし」とする回答が皆無であることを除くと、性別・所属学部別で見てもほぼ同様です。住居形態別で見ると、親戚・知人宅に住んでいる学生に、通信費がやや高くなる傾向が見られます。

〈図 31〉 問 9 - 11 通信費（携帯電話代等）



〈図 32〉 問 9 - 11 通信費 [携帯電話代等] (住居形態別)

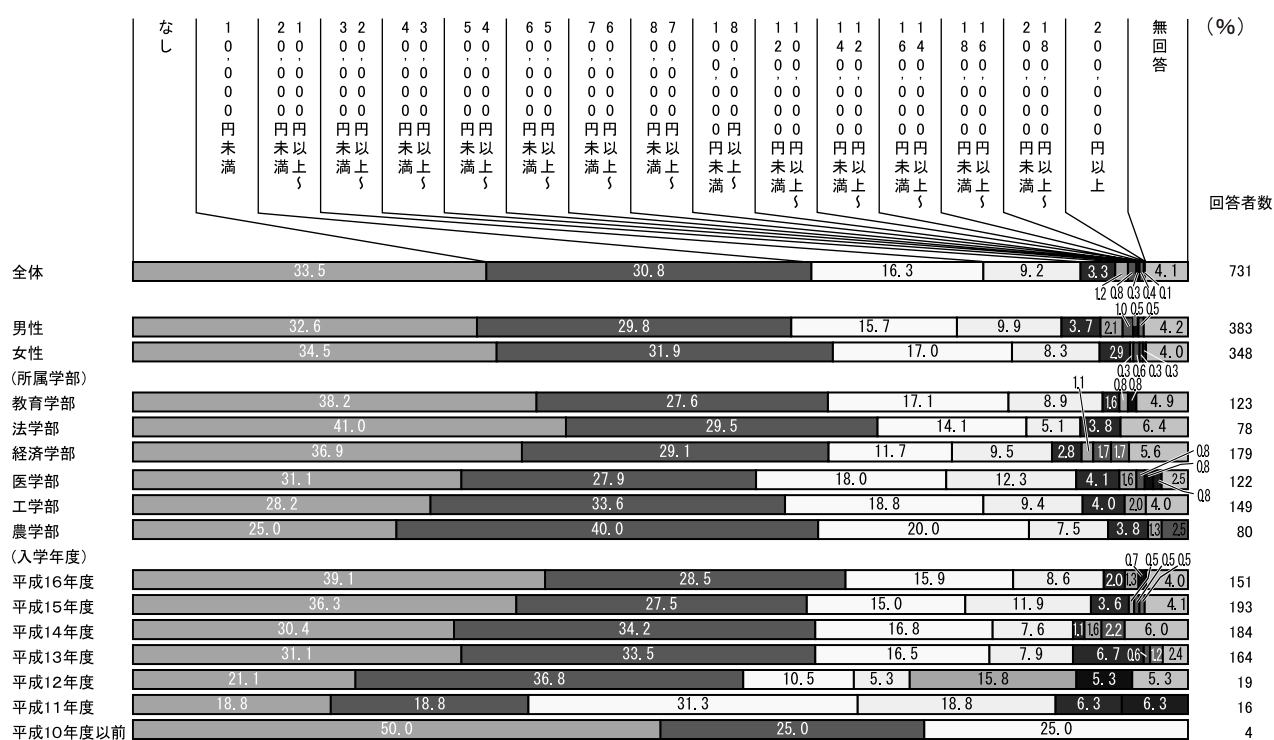


⑦ その他の支出

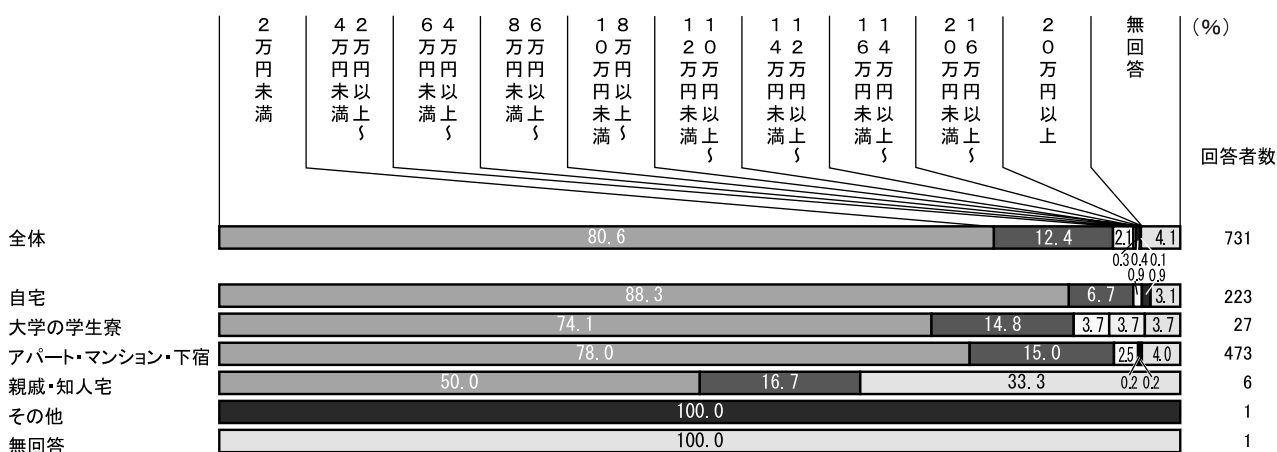
「その他」の支出のない学生は3割強。住居形態別に若干のバラツキあり。

図 33 は、一ヶ月の支出総額に占める「その他」の比率ですが、全体としては、「なし」とする回答 (33.5%) が最も多く、次いで「1万円未満」となっています。この傾向は、性別・所属学部別で見てもほぼ同様です。住居形態別で見ると、親戚・知人宅に住んでいる学生に、「その他」の支出額がやや高くなる傾向が見られます。

〈図 33〉 問 9 - 12 その他の支出



〈図 34〉 問 9 - 12 その他の支出 (住居形態別)

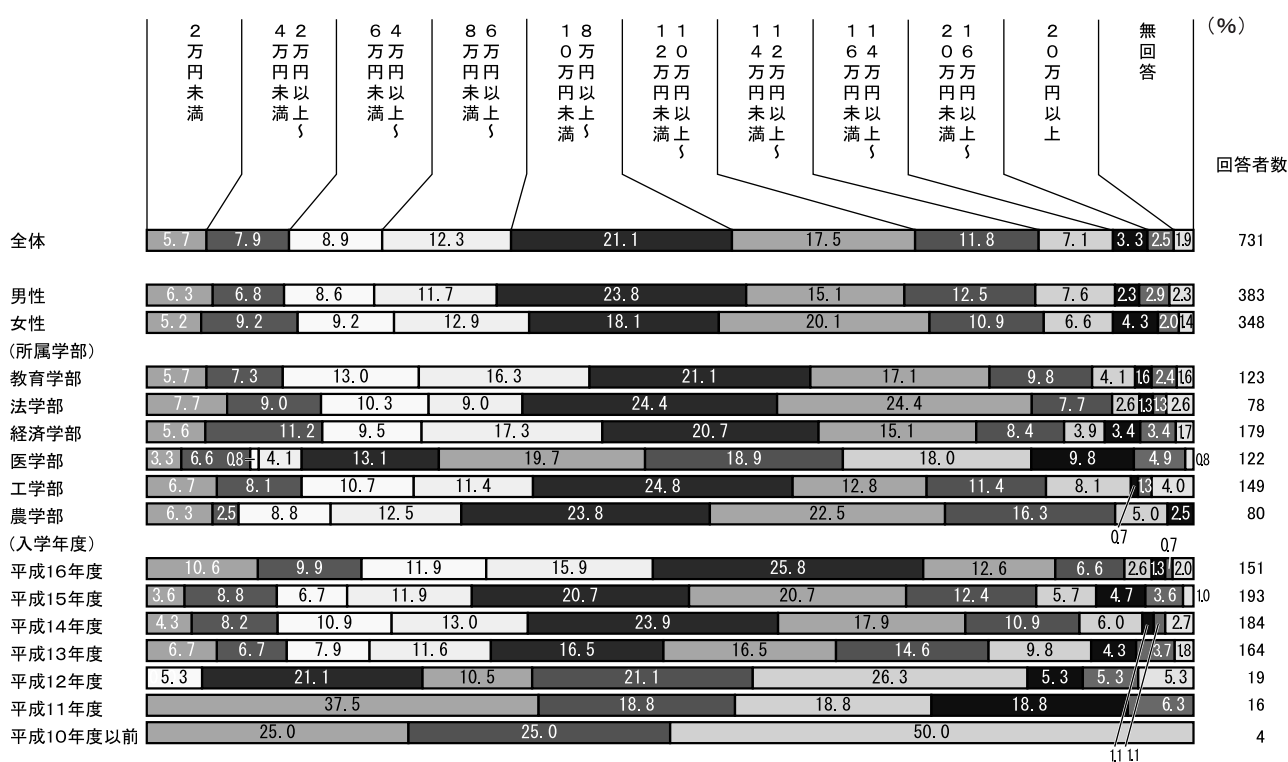


⑧ 1か月の支出総額

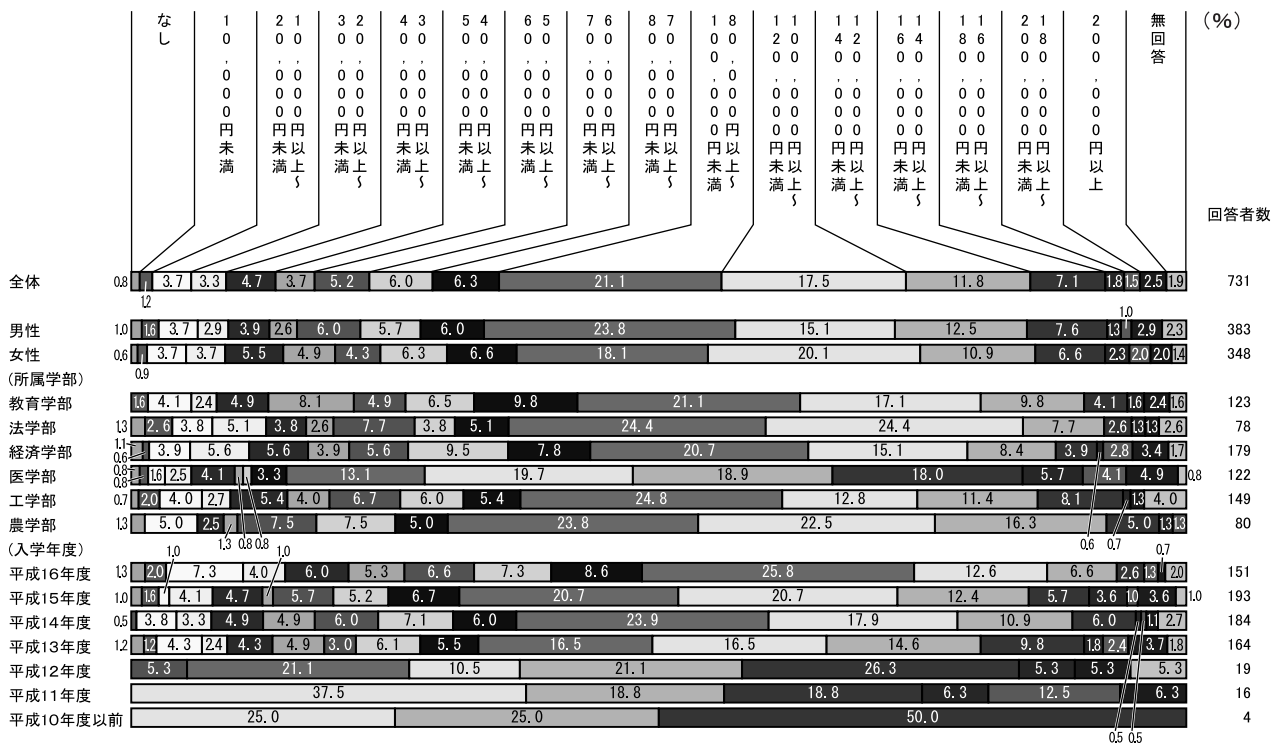
一ヶ月の支出総額は「8万円以上～10万円未満」が最多。
住居形態別に若干のバラツキあり。

図 35 は、一ヶ月の支出総額を表したものです。全体としては、「8万円以上～10万円未満」とする回答 (21.1%) が最も多く、次いで「10万円以上～12万円未満」となっています。女子学生は、男子学生に比べて支出総額がやや高い傾向にあります。また、学部別で見ると、医学部の支出総額が高い傾向にあるのが目立ちます。住居形態別で見ると、自宅生、および親戚・知人宅に住んでいる学生に、支出総額がやや低くなる傾向が見られます。

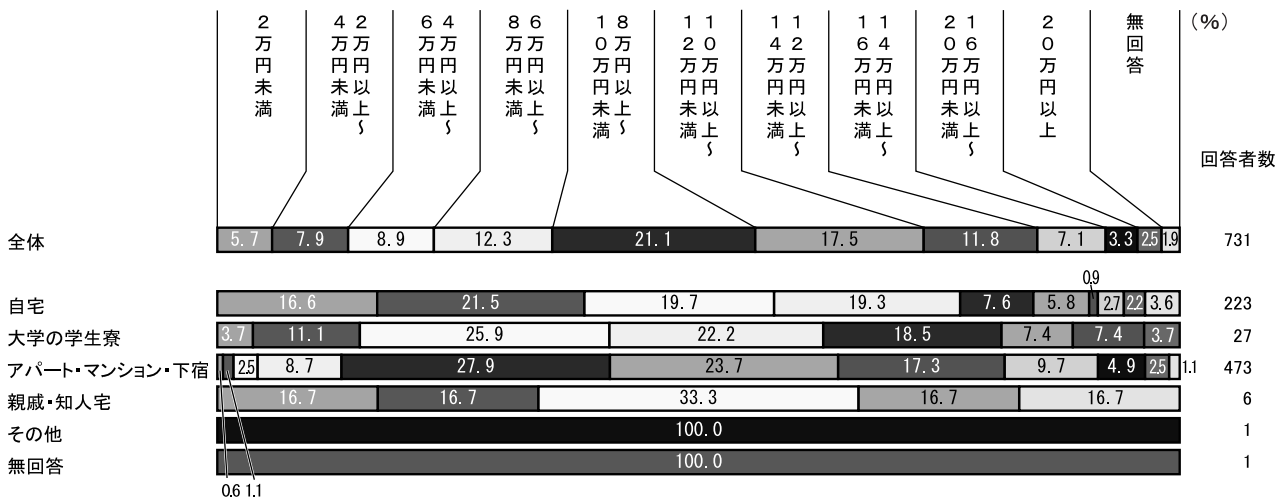
〈図 35〉 問 9 - 13 1か月の支出総額 (2万円別)



〈図 36〉 問9-13 1か月の支出総額



〈図 37〉 問9-13 1か月の支出総額 (住居形態別)

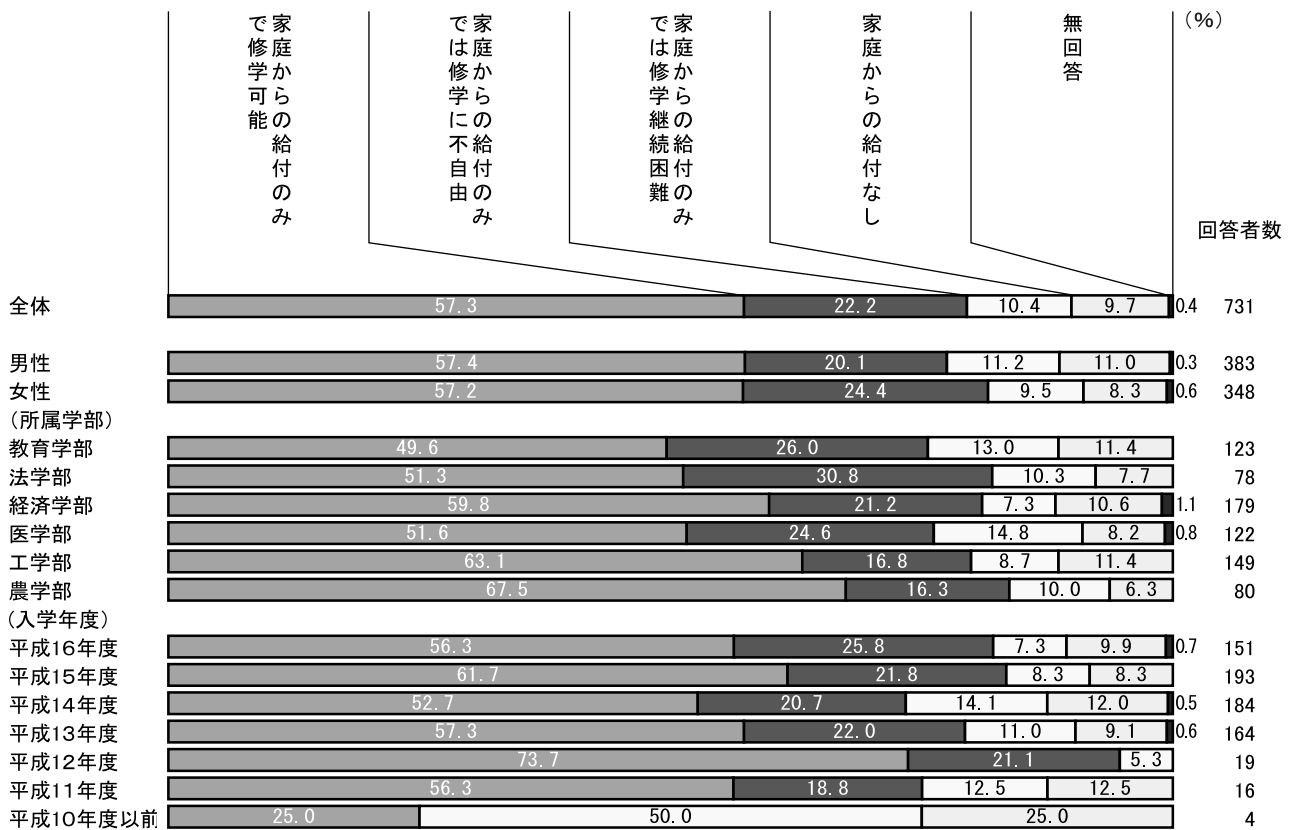


(3) 家庭からの給付と修学との関係

5割強の学生が「家庭からの給付のみで修学可能」。

図 38 は、家庭からの給付と修学との関係について表したものです。全体としては、「家庭からの給付のみで修学可能」とする回答（57.3%）が最も多く、この点で性別による差は見られません。学部別でも、「家庭からの給付のみでは修学に不自由」とする回答が法学部でやや高く（30.8%）、「家庭からの給付のみでは修学継続困難」とする回答が医学部でやや高い（14.8%）といった若干のバラツキを除くと、ほぼ同様です。

〈図 38〉 問 10 家庭からの給付と修学との関係は（最近 1 年間の経験から）



(4) お金が足りなくなった場合の対処

5割弱の学生が窮乏状態を未経験。入学年度による差あり。

図 39 は、お金が足りなくなった場合の対処方法を表したものです。全体としては、「そのような事態になったことがない」とする回答が最も多く (46.2%)、次いで「親や兄弟に借りる」となっています。性別・所属学部別で見てもほぼ同様です。入学年度で見ると、年度を遡るにつれて「親や兄弟に借りる」の割合が増えてゆくという傾向が見られます。

〈図 39〉 問 11 あなたはお金が足りなくなったらどのように対処していますか。次のうちから一つ選んで教えてください。

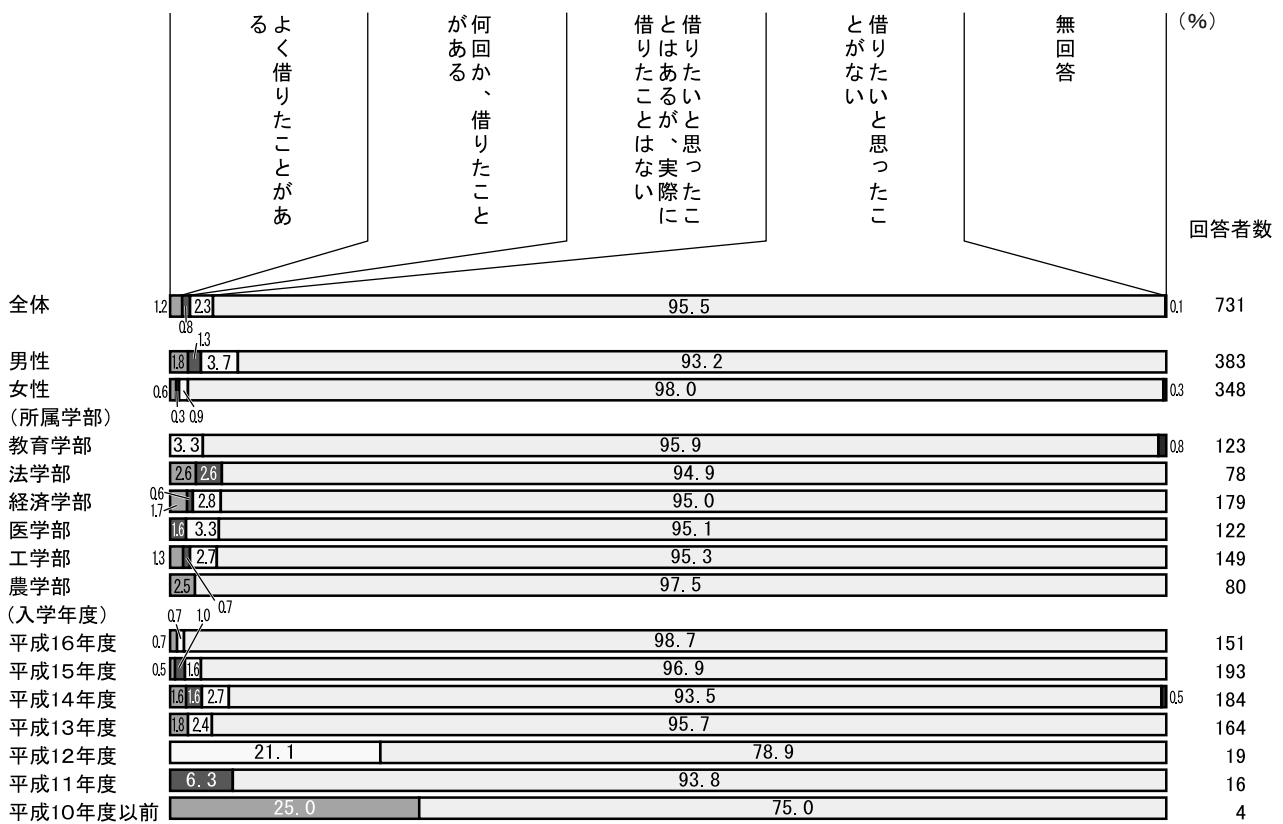


(5) 消費者金融の利用

9割強の学生が消費者金融の利用経験なし。

図40は、消費者金融の利用についての回答を表したものです。全体としては、「借りようと思ったことがない」とする回答(95.5%)が圧倒的に多く、性別・所属学部別で見てもほぼ同様です。入学年度で見ると、全体に占める比率としては低いものの、年度を遡るにつれて「よく借りたことがある」とする回答の割合が増えてゆくという傾向が見られます。

〈図40〉 問12 あなたは消費者金融からお金を借りたことがありますか。



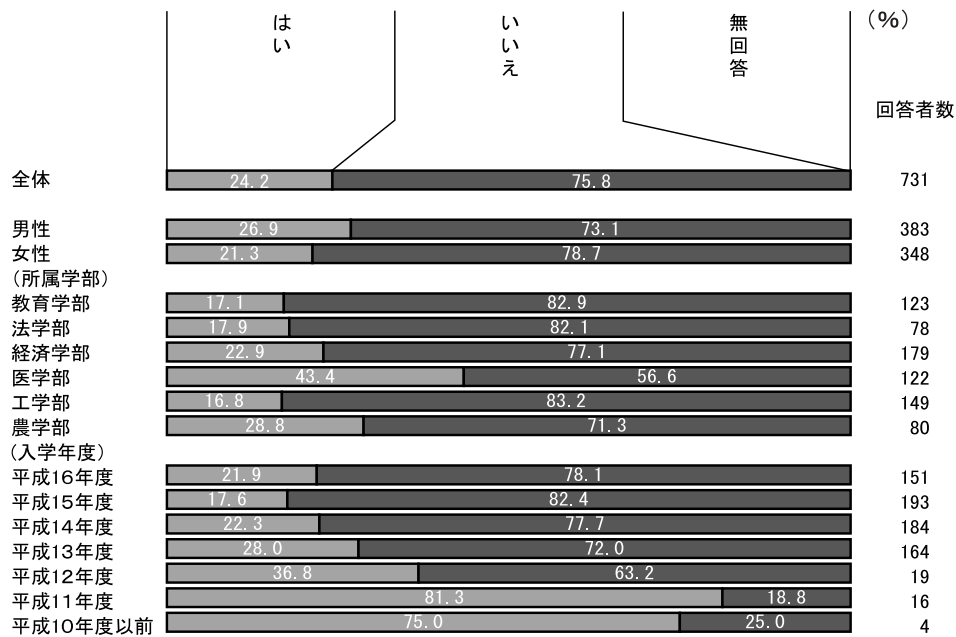
(6) 所有する持ち物

携帯電話はほぼ全員の学生が所有。有線電話の所有比率は減少傾向。
 冷蔵庫、洗濯機、パソコン、テレビ、CD プレーヤーについては大多数の学生が所有。
 ファックス、原付・自動二輪については大多数の学生が所有せず。
 全般的に、所属学部別のバラツキあり。

① 有線電話

図 41 は、有線電話の所有状況について表したものです。全体としては、「所有していない」とする回答 (75.8%) が多く、性別で見てもほぼ同様です。所属学部別で見ても、医学部で「所有している」とする回答が高い (43.4%) ことを除くと、ほぼ同様の傾向が見られます。

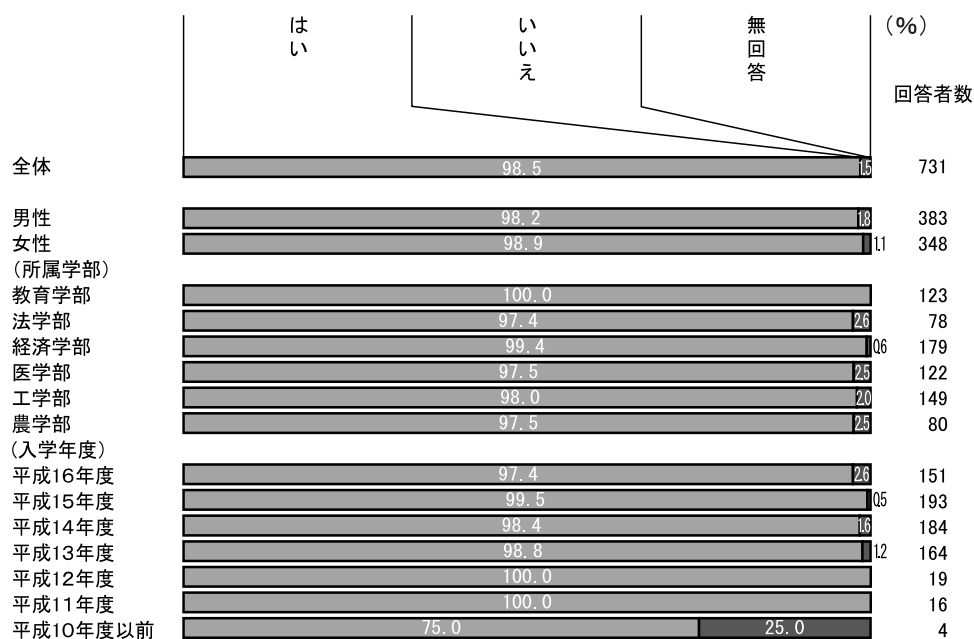
〈図 41〉 問 13 - 1 有線電話 (普通の電話)



② 携帯電話 (PHS 電話を含む)

図 42 は、携帯電話 (PHS 電話を含む) の所有状況について表したものです。全体としては、「所有している」とする回答 (98.5%) が圧倒的に多く、性別・所属学部別で見てもほぼ同様です。

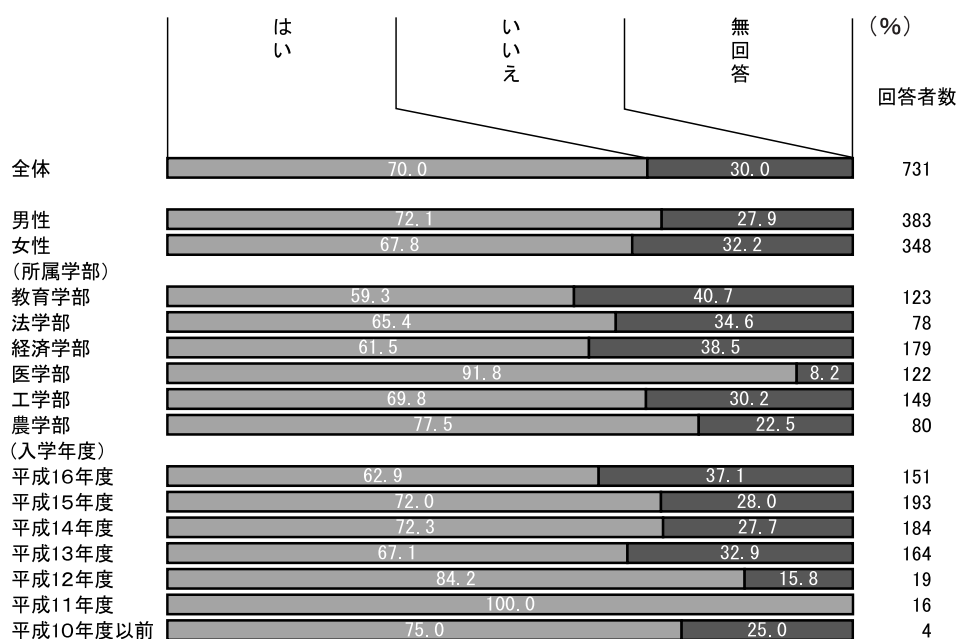
〈図 42〉 問 13 - 2 携帯電話 (PHS 電話を含む)



③ 冷蔵庫

図 43 は、冷蔵庫の所有状況について表したものです。全体としては、「所有している」とする回答 (70.0%) が圧倒的に多く、性別で見てもほぼ同様です。所属学部別で見ると、「所有している」とする回答の比率が医学部で特に高く、「所有していない」とする回答の比率が教育学部・法学部・経済学部といった文系学部で高いといったバラツキが見られます。

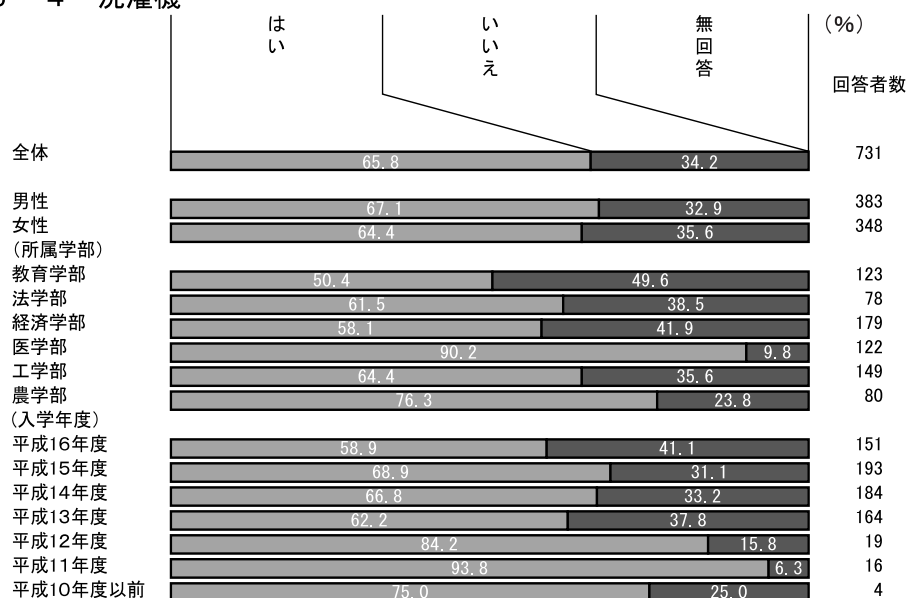
〈図 43〉 問 13 - 3 冷蔵庫



④ 洗濯機

図 44 は、洗濯機の所有状況について表したものです。全体としては、「所有している」とする回答（65.8%）が多く、性別で見てもほぼ同様です。所属学部別で見ると、「所有している」とする回答の比率が医学部で特に高く、「所有していない」とする回答の比率が教育学部・法学部・経済学部といった文系学部で高いといったバラツキが見られます。

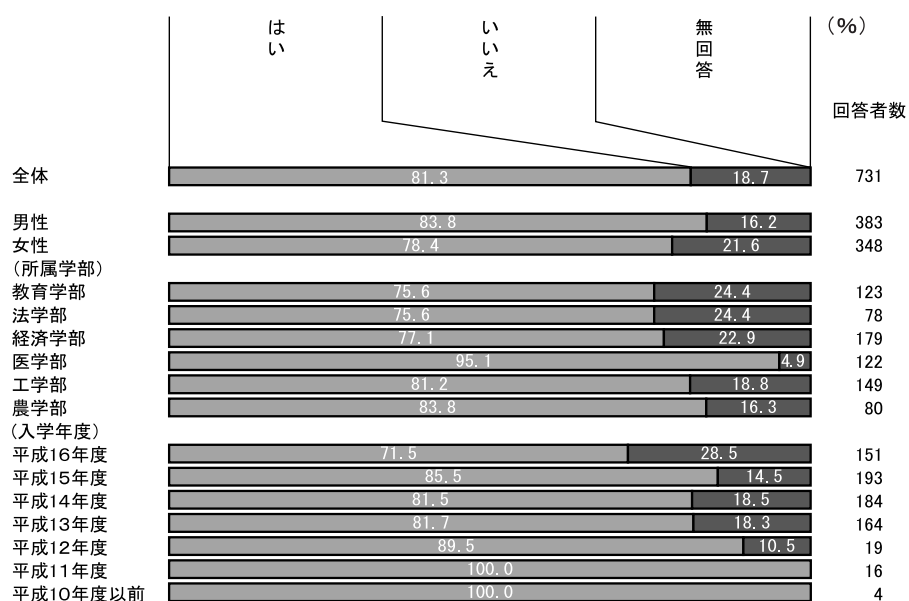
〈図 44〉 問 13 - 4 洗濯機



⑤ パソコン

図 45 は、パソコンの所有状況について表したものです。全体としては、「所有している」とする回答（81.3%）が多く、性別で見てもほぼ同様です。所属学部別で見ても、「所有している」とする回答の比率が医学部で特に高いという点を除くと、ほぼ同様です。

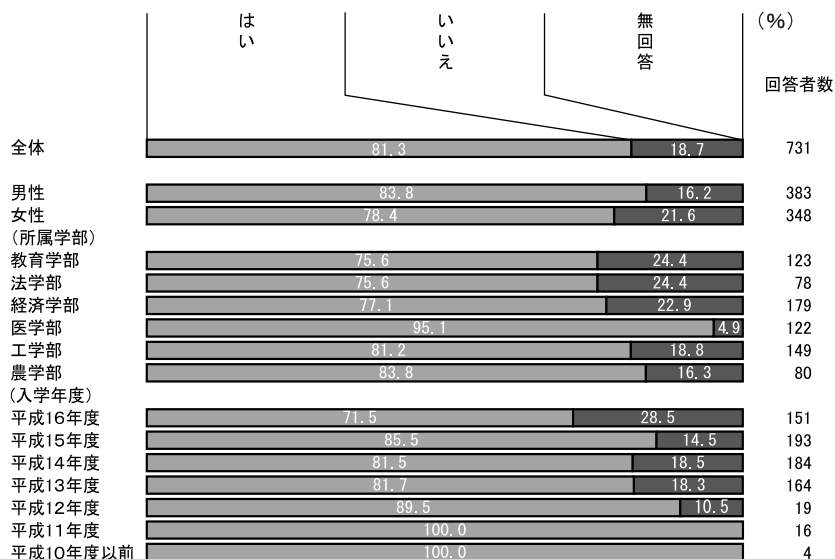
〈図 45〉 問 13 - 5 パソコン



⑥ テレビ

図 46 は、テレビの所有状況について表したものです。全体としては、「所有している」とする回答 (81.3%) が多く、性別で見てもほぼ同様です。所属学部別で見ても、「所有している」とする回答の比率が医学部で特に高いという点を除くと、ほぼ同様です。

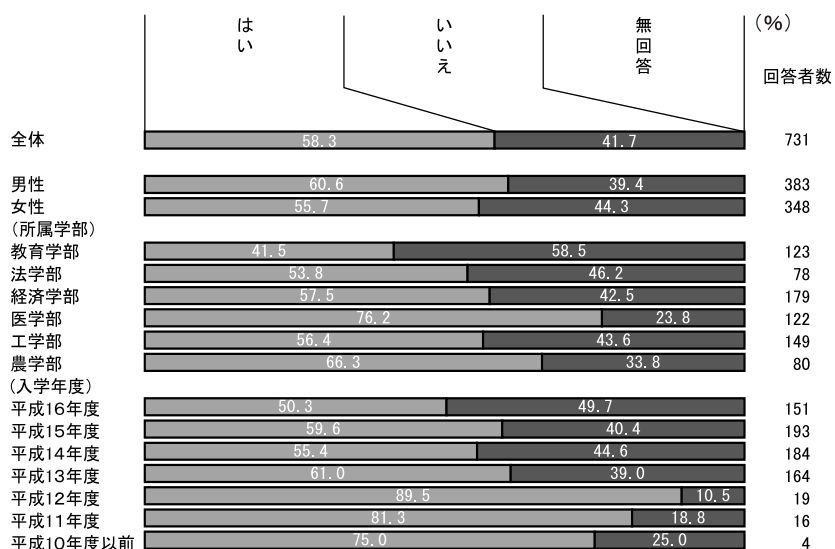
〈図 46〉 問 13 - 6 テレビ



⑦ ビデオデッキ

図 47 は、ビデオデッキの所有状況について表したものです。全体としては、「所有している」とする回答 (58.3%) が多く、性別で見てもほぼ同様です。所属学部別で見ると、「所有している」とする回答の比率が医学部で特に高く、「所有していない」とする回答の比率が教育学部・法学部・経済学部といった文系学部で高いといったバラツキが見られます。また入学年度で見ると、平成 12 年度以前入学生では、「所有している」とする回答の割合が、それ以後の入学生に比べて多いという傾向が見られます。

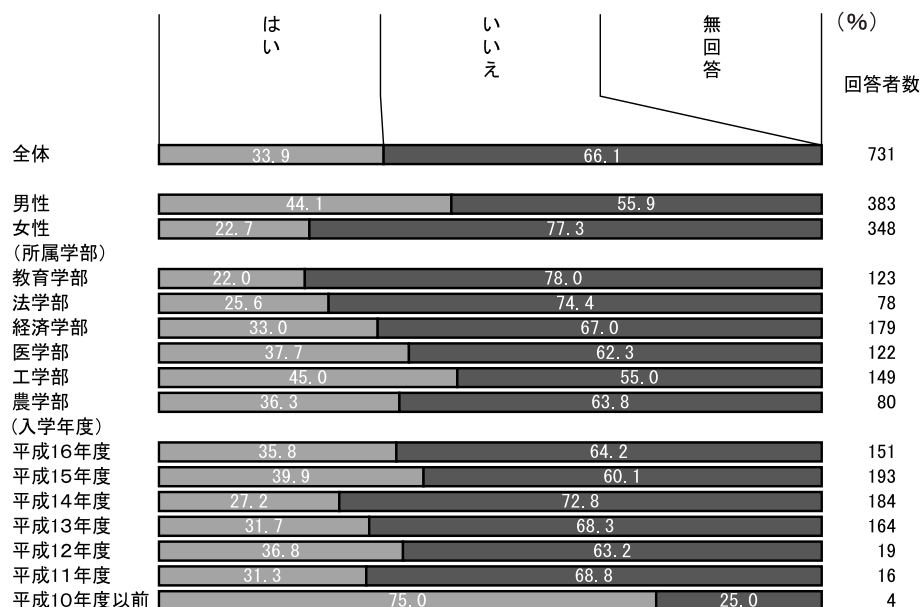
〈図 47〉 問 13 - 7 ビデオデッキ



⑧ DVD プレーヤー

図 48 は、DVD プレーヤーの所有状況について表したものです。全体としては、「所有していない」とする回答（66.1%）が多くなっています。性別・所属学部別で見ると、「所有している」とする回答の比率は、それぞれ男子学生・理系学部で高くなる傾向が見られます。

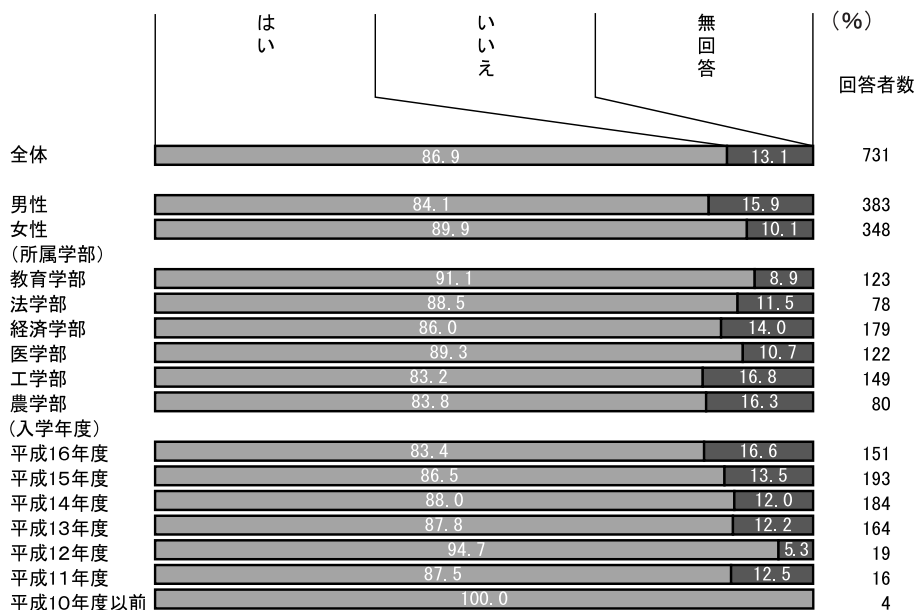
〈図 48〉 問 13 - 8 DVD プレーヤー



⑨ CD プレーヤー

図 49 は、CD プレーヤーの所有状況について表したものです。全体としては、「所有している」とする回答（86.9%）が圧倒的に多く、性別・所属学部別で見てもほぼ同様です。

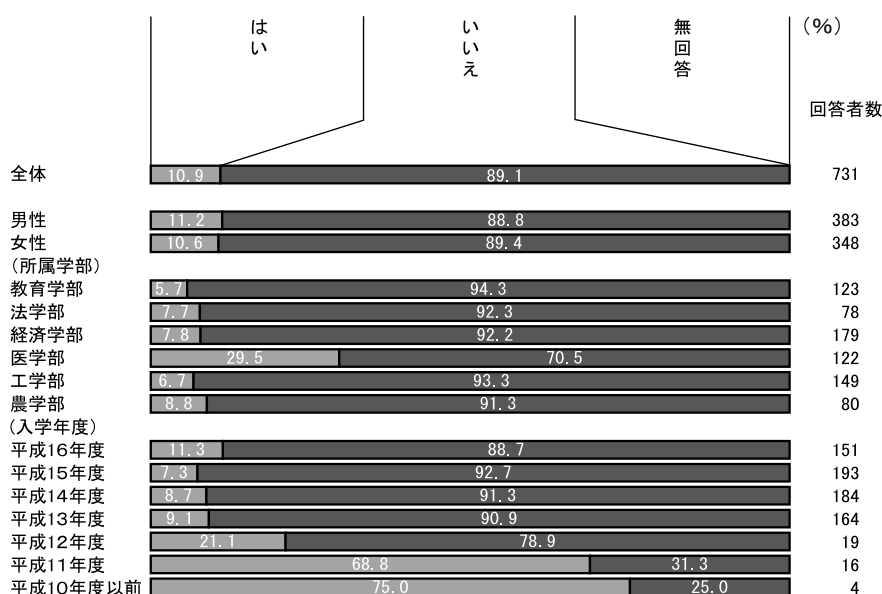
〈図 49〉 問 13 - 9 CD プレーヤー



⑩ ファックス

図 50 は、ファックスの所有状況について表したものです。全体としては、「所有していない」とする回答 (89.1%) が圧倒的に多く、性別で見てもほぼ同様です。所属学部別で見ても、「所有している」とする回答の比率が医学部で特に高いという点を除くと、ほぼ同様です。また入学年度で見ると、入学年度を遡るにつれて、「所有している」とする回答の割合が高くなる傾向が見られます。

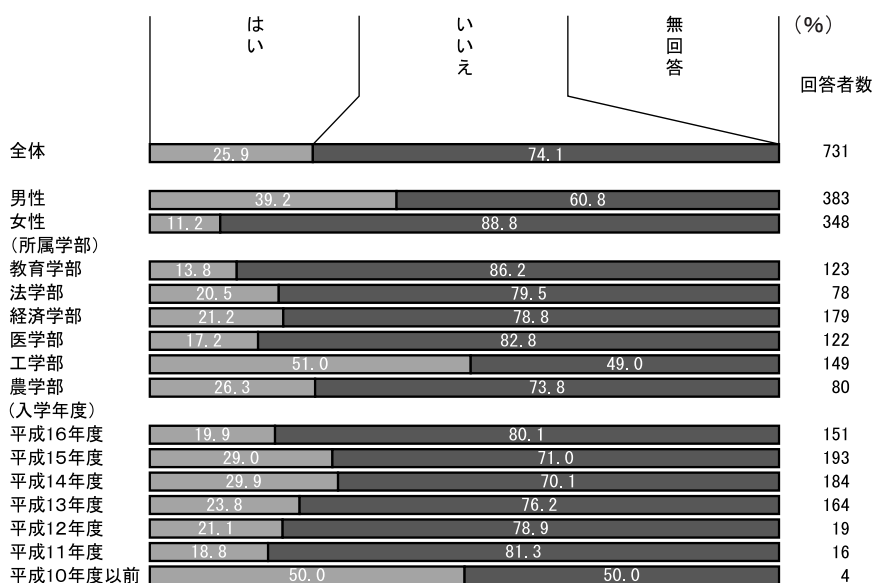
〈図 50〉 問 13 - 10 ファックス



⑪ 原付・自動二輪

図 51 は、原付・自動二輪の所有状況について表したものです。全体としては、「所有していない」とする回答 (74.1%) が多くなっています。性別・所属学部別で見ると、「所有している」とする回答の比率は、それぞれ男子学生・工学部および農学部で高くなる傾向が見られます。

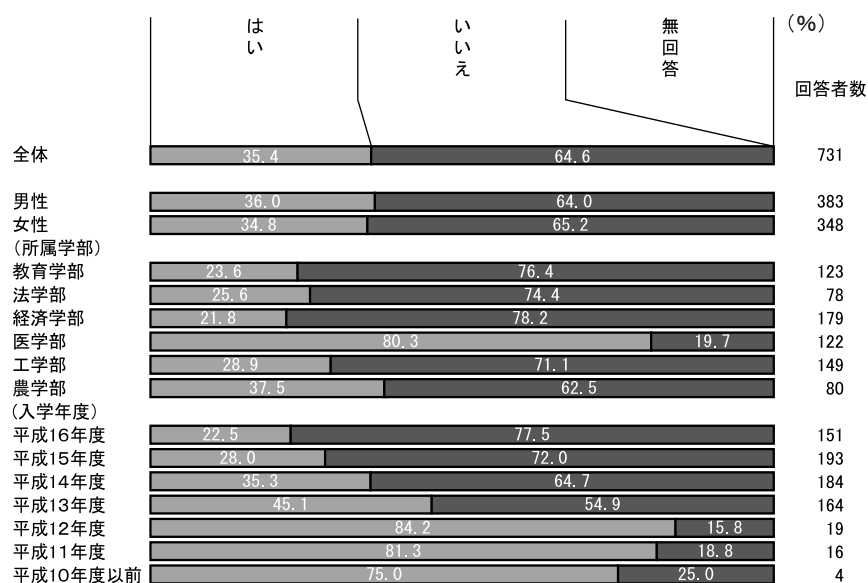
〈図 51〉 問 13 - 11 原付・自動二輪



⑫ 自動車

図 52 は、自動車の所有状況について表したものです。全体としては、「所有していない」とする回答（64.6%）が多くなっています。性別で見てもほぼ同様です。所属学部別で見ると、「所有している」とする回答の比率は、ひとり医学部だけが例外的に高く、しかも「所有していない」とする回答の割合を大きく凌駕しています（80.3%）。

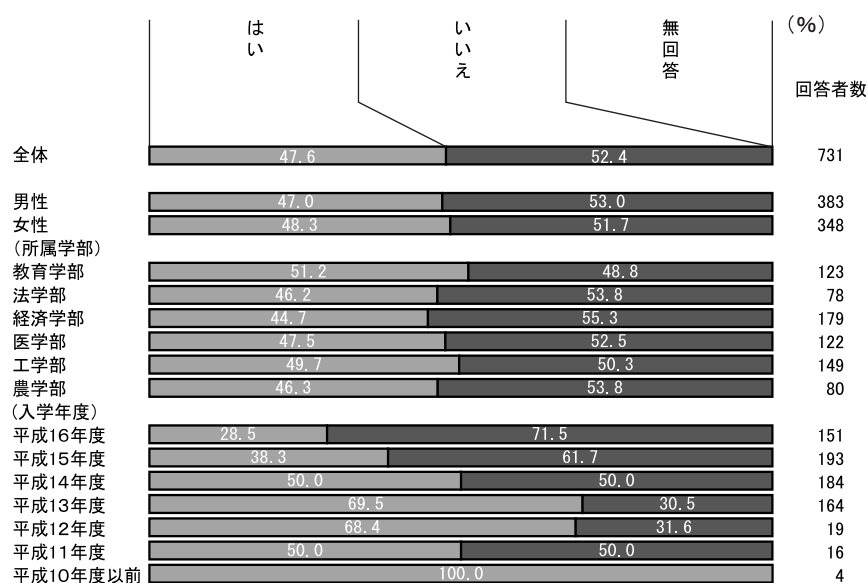
〈図 52〉 問 13 - 12 自動車



⑬ クレジットカード

図 53 は、クレジットカードの所有状況について表したものです。全体としては、「所有している」とする回答（47.6%）と「所有していない」とする回答（52.4%）の割合はほぼ拮抗しており、この点では性別・所属学部別でも同様です。

〈図 53〉 問 13 - 13 クレジットカード

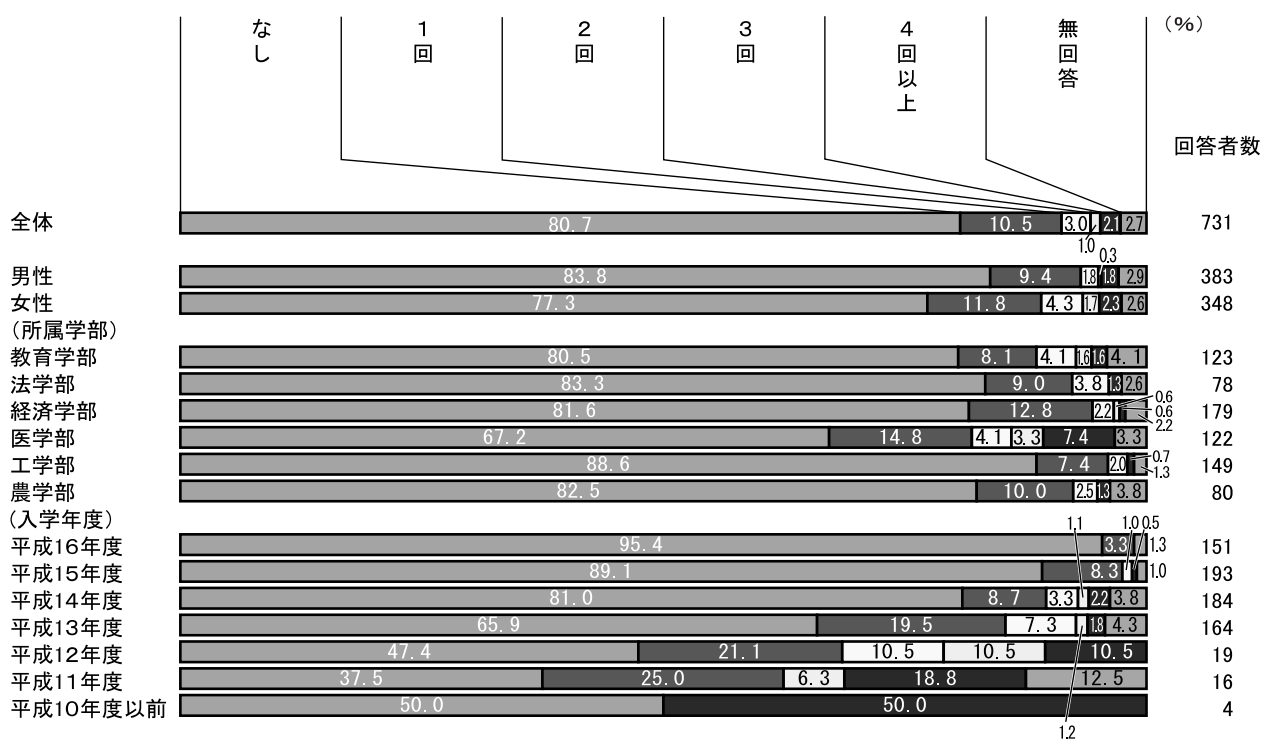


(7) 海外旅行の経験

大多数の学生が海外旅行未経験。

図 54 は、在学中の海外旅行（留学を含む）の経験の有無について表したものです。全体としては、「なし」とする回答（80.7%）が圧倒的に多く、性別で見てもほぼ同様です。所属学部別で見ても、医学部で「1回」ないしそれ以上とする回答の比率がやや高くなるものの、ほぼ同様です。入学年度別で見ると、入学年度を遡るにつれて、「1回」ないしそれ以上とする回答の比率が高くなる傾向が見られます。

〈図 54〉 問 14 大学に入学してから海外旅行（留学を含む）をしたことがありますか。



(8) 海外旅行の行き先

旅行先は「アメリカ」、「ヨーロッパ」が多数。

図 55 は、在学中の海外旅行（留学を含む）の経験がある場合の、旅行先について表したものです。「その他」を除くと、全体としては「アメリカ」とする回答（12.4％）と「ヨーロッパ」（18.4％）とする回答が多く、「カナダ」、「韓国」がそれらに次いでいます。性別で見てもほぼ同様です。所属学部別で見ると、「ヨーロッパ」とする回答の割合が工学部と農学部で高くなっています。また、入学年度で見ると、平成 16 年度入学生では、「ヨーロッパ」とする回答の割合が突出して高くなっています（75.0％）。

〈図 55〉 問 15 問 14 で「1」以外の回答をした人のおたずねします。その旅行先はどこですか。（幾つでも）

